噶什喀尔誌 附録一

共十五冊

ル 5
3210
10

附録第一

里程記

千八百七十六年十月露國公使ノ經過セシ「オ
ーレ」府ヨリ噶什喀尓府ニ到ルノ里程記

千八百七十六年十月七日經過セシモノハ「オー
レ」府ヨリ「マーヴイ」村マテニシテ其里程八十一
露里ナリ

「オーレ」府ヲ出テシヨリ三露里ノ間ハ該府ノ園
ニシテ全ノ府ヲ出ヅル所ニ於テハ高地丘陵アリ
[illegible]諾山ノ支脈道路ニ分出ス狹谷ニハ「ジガーラ」

參謀本部

門 ル 5
號 3210
巻 10

昭和十五年七月十日
西徳二郎氏寄贈

穀物及ヒ豆麦ヲ耕作シ道路ヲ繞囲スル山峰ニハ植物アルヲ観ス「オートシ」府ヲ距ル五露里ノ所ニ到レハ樹木ノ欝蒼タルアリテ道路ヲ遮キル其道路ノ左端ヨリ北方ヲ遠望スレハ地平ヲ見ルノミ其平原ニ廣大ナル牧場アリ是豪家ノ所有スルモノニシテ其牧場ニハ灌漑ノ法ヲ要セサルナリ又牧場ト牧場ノ間ニ数多ノ圍アリ道路ノ石端即チ南方ヲ遠望スレハ丘陵ハ漸次ニ高起シテ山嶽トナリ府ヲ距ル七露里半ノ所ニ至レハ「モヤン」ト名クル一小村アリ是村ハ数戸ノ「サクリヤ」屋二棟ヨリ成ルモノナリ「サクリヤ」ノ近傍ニハ数株ノ樹木生長スルヲ見ル

「モヤン」村ヨリシテ三露里ノ間道路ハ平地ト為ル其石端即チ南方ニハ「カヽラス」小河アリ其後道路ハ再ヒ丘陵ノ地ニ因リテ「オートシ」府ヲ距ル十二露里ノ所ニ及ブ

「オートシ」府ヲ去ル十二露里ノ所ハ「マーヅイ」村ニシテ該村ハ「サクリヤ」数戸アリテ湿沢ノ地数所ニ散在ス湿沢地ノ近傍ニハ樹木ノ繁茂スルア又良美ノ牧場アリ柳「アーヅイ」ノ名ノ因テ起

参謀本部

所ヲ原ヌルニ「シエイフ、マーヅイ」ト云ヘル人名ヲ取リシモノナリ其人ハ「メツコ」ヨリ来レル亜剌比亜ノ聖者ナリ詼氏ノ墳墓ハ高地ニ在リ数株ノ「カルガン」樹名之ヲ繞囲ス而シテ其墳墓ハ地方人民ノ来拝スルモノニシテ之ニ祈願スルトキハ尾底骨ノ病ヲ治スト云フ故ニ人民ハ脊ヲ以テ其墳墓ヲ揖ル墳墓ノ近傍ニ在ル樹木モ聖物トナシテ人民ハ之ヲ伐採セス此樹木ハ灌漑法ヲ用セスシテ生スルモノナリ人民ノ口碑ニ傳フル所ニ依レバ「シエイフ、マーヅイ」ノ杖ヲ地

参謀本部

ニ立テシヨリ其杖根ヲ生シ今日ニ至リ斯ノ如キ樹林トナリシモノト云フ「マーヅイ」村ニハ「キルギス」人ノ来テ冬籠ヲ為スモノナリ蓋シ此地ニ来テ冬籠ヲ為スノ「キルギス」人ハ「バカール」種族ニシテ其数五十戸乃至六十戸アリ皆ナ「アライ」ニ遊牧スルモノナリ

道路ハ總テ車道ニシテ更ニ修繕ヲ要セサルモノナリ然ドモ「オーシ」府ノ園ニ傍ヘル所ト「マーヅイ」村ノ近傍ハ道路頗ル破損セリ「[illegible]テスー」河ハ屈曲シ数回道路ヲ分裁ス故ニ道

参謀本部

給ニ於テ飲料ニ窮スルヿアラス盖シ「カーラ、ス
ー」河ハ其源ヲ「マーヅイ」ノ鑛山ニ発スルモノア
リ
商隊及ヒ小数ノ兵員ニ供スベキ薪材及ヒ食物
ハ至ル所不足スルヿアルナシ
余ノ坆書ニ小数ノ兵員ト記スルハ歩兵二三
小隊騎兵二三中隊ノ兵員ヲ指示スルモノナ
リ
十月八日経過セシモノハ「マーヅイ」村ヨリ「タリ
ヅイク」隘地ニ至ル迄ニシテ其間里数二十九露

参謀本部

里アリ
先ツ「マーヅイ」村ヲ出発スレハ右方ハ車道ニモ
テ左方ハ駄路トス後数露里ヲ進行スレハ車道
ト駄路ト相ヒ合シテ一道ト為ル其北部ノ丘陵
ハ峻嶮ニシテ谷地ヨリ遠サカル「ヲー」府ヲ去
ル十三露里「マーヅイ」ヲ去ル二露里ノ所ニ於テ
一大樹アリ其近傍ニ水源アルヲ観ル是則チ「カ
ーラ、スー」河ノ源ナリ此地ヲ名ケテ「バシ、ブラー
ク」ト云フ以上ノ水源ニ至ルマデノ道路ハ其両
端ニ「タール」白楊等ノ樹木繁生シ其間数戸ノ冬

参謀本部

籠アリ其内最モ大ナルハ嘗テ叉賊「アブヅル、ベク」ニ属セシモノ是ナリ現今「アブヅルベク」ニ属セシ土地及ヒ家屋ハ官ニ没収セラレタリ又道路ハ「バジブラーク」ヲ過グレハ廣漠タル草原ニ因テ通ス其草原ヲ繞囲スルノ丘陵ハ漸次ニ峻嶮ヲ加ヘ遠望スレバ雪ノ山頂ニ積ルヲ見ル「オーシ」府ヲ距ル十七露里ノ所ニ於テ「サイキチク」或ハ「タルイク」或ハ「タルヅイク」ト名クル水流アリ盖シ皆凹地ニ河水ノ流過スルモノヲ言フ而テ「サイキチク」ハ其尤モ小ナル者ヲ言フナリ

「サイキチク」ハ皆道路ニ跨ル凹地ニ架渡セシ橋梁ニ達セザルノ前道路ノ右端即チ南方ニ数戸ノ冬籠所アリ之ヲ總称シテ「カラチク」ト云フ橋梁ヲ経過セシ後半露里ニシテ「タルドイク」ト名クル狭谷アリ是亦タ「サイ、キチク」ト言フ「バン、ブラーク」ヨリ「タルヅイク」狭谷マデノ地ヲ總称シテ「ウルジヤル」ト呼フ狭谷ニ入ルノ前其北方ニ「アクジヤル」ト名クル地アリ該地ニハ「ウダガチン」ノ冬篭所アリ「タルヅイク」狭谷ハ其幅百五十「サージエン」ヨリ百八十「サ

「ビユ」ニシテ其高サ数百「フート」アリ是「クル
ヅイク」列峯ト「アライ」嶺トノ間ニ在ルモノナリ
此諸山ハ所々峻嶮ナル所アリテ「タルヅイク」ノ
谷地ニ入ル「タルヅイク」河ハ狭谷ヲ流ルヽモノ
ニシテ或ハ狭谷ノ右岸ニ接シ或ハ又其左岸ニ
近ツクト雖𪜈大体ヲ以テ見レハ左岸ニ近接シ流ル
ヽヿ多シトセザル可カラス
「オーシ」府ヲ距ル三十露里ノ所ニ於テ「ランガル」
ト名クル天然境アリ其天然境ハ全狭谷間ニ無
双ノ樹木三本ヲ以テ定ムルモノナリ「ランガル」

参謀本部

近傍ハ不時ニ侵襲セラルヽヿアリ
此地ハ則チ我公使ノ一行ガ千八百七十六年
六月十六日「イーシムシベク」ノ「キルキス」人ヲ
率ヒテ我輩ヲ襲撃セシモノナリ
天然境ノ標記ヲ為ス三樹ノ所ヲ経過シ小河ノ
近傍ニ於テ道路数線ニ分裂スル所アリ此地ニハ
則チ駅所ヲ設置ス「ランガル」ヨリ「グリチ」ニ趣ク
ノ路二線アリ一ハ郵路ニシテ一ハ車道ナリ此
車道ヨリシテ「シユーツ」及ヒ「キルキチク」ニ趣ク
ノ道又数線アリ

参謀本部

「ランガル」ニ達セサル二露里前ニ於テ南方ニ「バパン」ノ冬営所ニ行クノ道アリ狭谷ヨリ「ランガル」ニ至ルマデノ間道路ハ多ク細河ノ岸辺ニ沿ヘリ此狭谷ニ於テ薪材トナス可キ乾草アルコナク秣料モ亦甚乏シ「ランガル」ヲ過クル後狭谷ハ漸ク狭縮シ道路ハ前路ノ南部ニ在リシ山地ニ入リテ凸凹ノ地トナリ小岐脈ヲ旋行セザル可カラズ此所ニ来レハ薪材ニ用ユベキモノ「ヲブレピーフ」「ンポウニク」樹名アリ又山峯ヲ望メハ「アルテ」樹名ノ生長スルアルヲ見ル

道路ノ左端則チ北東ノ方位ニ於ケル狭隘ノ灰ニ「モナーク」種族ノ冬営所アリ此種族ハ「キルギス」人種ニ属スルモノニシテ若シ「アライ」地方ノ平穏ナラザルコアルハ全年此地ニ住スルモノナリ此冬営所ノ屋上ニハ「クレーウエル」草名ノ豫備アルヲ見ル我輩ノ此地ヲ経過スルノ際土人ハ小麦ノ收穫ヲ為セリ「ランガル」天然境ヲサル五露里ノ所ニ於テ「バルカシタ」ノ墳墓アリ其近傍ニ於テ「シユーツ」天然境ニ行クノ道アリ天然境「シユーウ」ハ「ギーキ、タルヴイク」河ノ谷地ニ

参謀本部

在リ諏河ハ「タルヴイク」河ニ注入スルモノナリ
「ランガル」ノ後ニ在ル諸山ハ漸ク高起シ其形状
ハ前地ニ在ツルモノニ変シテ嶮峻ノ峰トナル
「ランガル」ヲ距ル九露里ニシテ道路ノ左端即チ
其北東ノ方位ニ於テ廣濶ノ草原アリ良種ノ秣
料ヲ生ス「オーシ」府ヲ距ル四十露里「ランガル」ヲ
距ル十露里ノ所ニ於テ我輩ハ旅泊所ニ着セリ
最後ノ三露里ハ悉ク黒壌ニシテ植物ノ生長ニ
適ス道路ハ修繕ヲ加ルヲ要セス総テ車道ナリ
唯極メテ破損シ易キモノハ道路間ニ跨カル橋

梁ノ脆弱ナルニ在リ然レ圧其橋梁ハ小数ノ兵
員ヲシテ一時間其上ニ在ラシムルニ決シテ破
損スルノ恐レナカル可シ「ランガル」ヲ過キシ後
薪材ハ多少ノ兵員ノ用ニ供スルハ充分ナリ十
月ニ至レハ既ニ草野ニ於テ秣料ヲ得ル能ハス
飲料ハ至ル所欠乏スルヿナシ秣料及ヒ薪材ハ
以上述ヘシ諸地ニ於テ求ムルヲ得ルノ外近傍
ノ冬營所ニ於テ之ヲ求ムルヲ得ヘシ時ニ依リ
「キルギス」人ハ露國人ノ接近スルヲ見テ家畜ヲ
残シテ逃走スルヿアリ故ニ自由ニ之ヲ得可キ

ヿアリ

十月九日ニ経過セシ道路ハ「タルヅイク」狭谷ヨリ「グリテ」要塞ニ行クノ間ニシテ其里程二十七露里アリ

旅泊ヲ発スル後モ尚ホ「タルヅイク」ノ狭谷ニシテ地質ハ黒壌ナリ旅泊ヲ去ル三露里ノ所ニ於テ「キルギス」人種ニ属スル「モナーク」人ノ墳墓アリ「モナーク」人ハ此所ヨリシテ「チギリシン」峠ニ至ルノ間ニ住居スルモノナク又狭谷ハ此所ヨリシテ其幅漸々廣張シ南東ノ方位ニ向テ進行ス旅泊ヲ去ル九露里「ランガル」ヲ去ル十九露里ノ所ニ於テ道路ハ漸ク「タリヅイク」ノ狭谷ヲ出テヽ草原ニ入リ東ニ向テ進行ス其草原ノ内ヨリシテ已ニ「チギルチナク」峠ニ至ルノ初路トナル道路ハ則チ草原ノ左端ニ在リテ線杖ヲ布ケリ峠ニ上ルノ初ハ至テ嶮峻ニシテ凸凹アリ其地質ハ粘土ナリトス「チギルチク」峠ノ高所ハ「タルヅイク」狭谷ヲ距ル三露里ト四分ノ一二ノ所ニ在リ即チ峠ニ入ルノ初路ヨリ上ルヿ二露里ナリ道幅ハ其最モ狭隘ナル所ト雖氏車行スルヲ

妨ケス其他路中廣濶ナル所アルヲ以テ馬ヲ休憩セシムルヲ得ヘシ然レ𪜈峠ノ初メハ至テ峻岨ナルヲ以テ大砲ヲ輸送スルニハ革紐ヲ以テ之ヲ縛シ歩兵ヲシテ引揚ケシメサル可カラス而テ荷車ノ十五「プート」以上ヲ積シシモノハ二頭ノ馬ヲ駕サル可カラス峠ニ於テ晴雨計ヲ以テ其高度ヲ計リシニ七十「フート」アリ一方ヲ見レハ「トグーズ、ブラーク」嶺アリ是前條ニ於テ積雪アリト記セシモノナリ

峠ニ上ルノ初ハ道路極メテ嶮岨ニシテ崩壊シ易シ其一露里ヲ進ム片ハ其嶮岨ナルヿ漸ク減ズト雖モ未革紐ヲ捨ツル能ハス尚ホ進行スレハ全ク革紐ヲ捨テ鉄ノ支杖ノミヲ備ヘテ通行スルヲ得ル峠ヲ去ル二露里ノ所ニ於テ狭隘ナル「トグーズブラーク」ノ狭谷アリ峠ヨリ「トグーズブラーク」ニ至ルマテノ間ハ道路粘土ニシテ其内或ハ赤色ヲ帯ブルモノヲ混ス坂地ハ雨後ニ通行スルヿ至テ難シトス狭谷ノ出口ヨリシテ石道トナル赤色粘土ノ下ニハ「ブリツニヤーク」名石ノアリ「ブリヅニヤーク」ノ下ハ斑点石ニシ

参謀本部

ヲ「ブリツニヤーク」間ニハ良種ノ大理石アリ狭谷ノ幅ハ至テ狭隘ニシテ其右左ノ山嶽ハ皆樹木アルヲ見ス岩石突出シ其山面ハ崎嶇トシテ「トグース、ブラーク」河岸ニ達ス若シ玆狭谷ニ於テ敵ヲ防禦スレハ数人ニシテ足レリ

諸峯ニハ「アルム」木ノ名馬鞍ニ用ユル者ノ生長スルアルヲ見ル「ダグーズ、ブラーク」ノ袖川ニハ灌木ノ生長スルヲ以テ薪材ニハ充分ナリトス峠ヲ去ル八里マデノ道路ハ南東ノ方位ニ趣カズシテ北東ノ方位ニ趣ク又七露里ノ所ニ於テ「ダグーズ、ブラーグ」河ノ右岸ヨリ其支流「シーリ、スリ」河ノ注入スルアリ二流相ヒ合スル所ニ於テ歩兵ノ休憩或ハ宿泊ニ便利ナルノ地アリ又牧地ニハ「アラーシ、マザール」ノ墳墓アリ

以上二流ノ相ヒ合スル所即チ「アラーシ、マザール」ヨリシテ道路ハ北方ニ旋回シ同狭谷ヨリ「グリチ」河ノ谷地ニ至ル該河ニハ極メテ粗悪ナル橋梁ヲ架ス之ヲ通過シテ「ダリチ」ノ要塞ニ到レリ

「アラーシ、マザール」墳墓ノ近傍ニハ巨大ナル樹

参謀本部

木ノ繁生スルアリ「グリチヤ」河ノ谷地ハ其廣サ
二百五十「サーゼン」ヨリ五百「サーゼン」ニアリテ
高蘆之ニ繁茂ス或ハ巨木ノ生長スル所アリ或
ハ灌木ノ生長スル所アリ又或ハ雜草ノ生長ス
ル所アリ樹木ノ内著ルシキモノハ野生ノ白楊
樹ニシテ其百株ハ要塞ノ近傍ニ在リ
「グリチヤ」ノ要塞ハ子堡及ヒ直部面ト城壕ヲ防
禦スル砲臺ヨリ成ル正面ノ長サ六十「サージエ
ン」ニシテ胸壁ノ厚サ七「フート」其高サモ亦タ七
「フート」アリ城壕ノ廣サ十四「フート」其深サ十「フ

ート」アリ城内ニ入ルニハ唯一門アルノミ
我輩ノ此城ニ在ルヤ其守備未タ全カラズ其
時新ニ兵營ノ築造ニ着手セリ火藥藏ハ已ニ
落成スト雖氏其濕氣ヲ避クルノ為メ種々ノ
方法ヲ設ケリ
「アラーレ、マザール」ノ墳墓ヨリ「グリチヤ」要塞ニ至
ル間ノ道路ハ車道ニシテ暫ラク修繕ヲ要セザ
ルナリ「グリチヤ」要塞ノ近傍ニ在ル橋梁ハ現今新橋ヲ設置セシナラン然レ氏春
時ノ降雨後「チキルチク」峠ノ前ニ在ル橋梁ノ線
杈ハ蓋シ破壞セシモ計リ難シ總テ線杈ハ至テ

破壊シ易キモノナリ「ドグーズブラーク」ノ狭谷ハ材木ヲ伐採スルヿ自由ナルヲ以テ橋校ノ破壊ヲ修補スルノ具ハ備レリトス

所ニ依リテハ人力ヲ用ヒズシテ郵馬ヲ養フベキ草原アリ冬篭所ハ道路ノ近傍ニ於テハ一ツモ之アルヲ見ス唯遠方ニ在ル冬篭所ヨリ家畜ヲ引来テ牧養スルヲ見ルノミ薪材ハ[illegible]ノ兵員ノ為メニハ充分ナリトス飲料ハ至ル所不足スルヿナシ

「オーレ」府ヨリ「グリテ」要塞ニ至ルマテノ間ニ於テハ里程ヲ知ラシメンカ為メ標柱ヲ立ツ「グリチヤ」ノ守衛兵ノ暫時「エルタ」ヲ構テ之ニ居ラシム故所ニ於テ守衛兵ノ需要ハ其近傍ナル「キルギス」ノ商人ニ因テ之ヲ辨ス其商人ハ諸品ヲ販賣スルノミナラズ又焼酎ヲ賣ル

我公使ノ一行「グリチヤ」要塞ヨリ「オーレ」府ニ帰ルノ時ハ三月二十六日ニシテ「チギルチク」ノ峠ヲ過ル車道ハ雪ノ為メニ壅塞セラルヽヲ以テ駄路ヲ取ラザルヲ得ザリシ故ノ駄路ハ車道ニ比スレハ短縮スルヿ八露里ニシテ之ヲ車道ト

ナサント欲スルニハ修繕ヲ要スル事甚ダ多シ
「ランガル」ノ天然境ニ於テ坎駄路ハ車道ト相ヒ
合スルモノナリ
十月十日ニ於テ経過セシ道路ハ「グリチヤ」要塞
ヨリ「ヤンギアルイク」ノ天然境ニ到ルモノニシ
テ其里程二十露里ト四分ノ一アリ
「グリチヤ」ヲ発セシヨリ十露里ノ間ハ其道路数
年前ヨリシテ既ニ車道トナレリ「グリチヤ」要塞
ヨリ道路ハ「グリチヤ」河ノ石岸ニ沿ヒ嶮崛トシ
テ高地ニ昇ル其後道路ハ俄ニ下低シ谷地ノ底
面ニ入リ其長サ三露里アリ
以上三露里ノ道路ヲ修繕スルニハ只細石ヲ掃
除スルニ在リ土地人民ノ言フ所ニ因レハ坎地
ハ六年乃至八年間ニ一回豊饒ノ歳アルノミナ
リト
「グリチヤ」谷地ハ其廣サ二百「サーゼン」乃至二百
五十「ブージユン」トナリ其周囲ノ山嶽ハ至テ嶮
峻ナルモノニシテ樹木ノ生長スル事希ナリ唯
寡少ノ「アルチヤ」アルヲ見ルノミ然レ氏谷地ニ
ハ「タウオロジニク」「ヲブレゼーフ」「レポウニク」イ

ルガイ」等ノ灌木繁生ス蓋シ「イルガイ」ハ地方人民ノ薪材トナルモノナリ案内者ノ言フニ因レバ少シク道路ヲ離ルヽ件ハ則チ杉樹アリト云フ

同行セシ土人ノ言フ所ニ因レハ家畜ヲ養フ植物中最モ重要ナルモノハ「クラブ」ト「ツラン」「ラング」等ナリト「グリチヤ」ヲ距ル五露里ニシテ「グリチヤ」ノ右岸ニ通スル道路ハ稍々嶮岨ナルヲ覚ユ尚ホ進行スルコ二露里ニシテ道路ハ「グリチヤ」河ノ左岸ニ轉ス其右岸ヨリ左岸ニ轉スル所ニハ新築セル橋アリ其橋ハ柱ヲ立テスシテ横柱ノミヲ以テ之ヲ維持スルモノナリ又其橋ト並列シテ旧橋アリ是土人ノ設置セシモノニシテ其堅固ナルヤ否ヤニ至テハ保証シ難シトス」橋ニ向ヒ「ウラ、ウーバ」ノ天然境アリ其天然境ニ沿テ近傍ノ冬篭所ニ趣クノ新小路ヲ通ス橋ヨリ左岸ニ沿フテ「グリチヤ」ニ趣クノ駄路アリ「グリチヤ」ノ細流ニハ既ニ記セシ後ニ於テ「ブタイルイクト」ト名クル細流アリテ注入ス此細流ニ沿フテ狭谷ニハ冬篭所アリ「グリチヤ」ノ谷地ハ進

参謀本部

ムニ従テ狭縮スルガ故ニ橋後ニ於テハ其幅僅
ニ六十「サージエニ」ニ過ギズ盖シ「グリチヤ」谷地
ヲ狭縮セシムルモノハ其両岸ニ突出スル岩崖
ニシテ其高サ一千五百「フート」ヨリ二十「フート」
ニ達ス

道路ハ「グリチヤ」河岸ニ在リテ其幅廣ク且ツ能
ク修繕セラレタリ「グリチヤ」要塞ヲ出ル九露里
ノ所ニ於テハ二橋アリ一ハ露人ノ設置セルモ
ノニシテ一ハ土人ノ設置ニ係ル其露人ノ設置セ
シモノハ前ニ述ベシ露人ノ橋梁ニ比スレハ其
堅強ナルヿ稍々下ルト雖𪜈野砲兵ノ通行スル
ニハ妨ケナキモノトス又土人ノ設置セル橋梁
ハ大ニ破損セリ橋梁ノ破損スルニ因リ速ニ河
流ヲ渡過スルヿ至テ難シ何トナレバ橋梁ノ破
損セシ所ハ筏ニ乗テ渡ラサルヲ得サレハナリ
河水ノ漲満スル時ハ其近傍ニ於テ筏ヲ求メ難
シ但シ春時ハ谷地ノ河水漲流スルヲ以テ三月
ノ頃マデハ筏ハ尚ホ其近傍ニ在リ

「グリチヤ」ヨリ此橋梁マテハ其道路南ニ趣キシ
ガ橋梁ヨリ以後ハ南東ノ方法ニ趣ケリ以上ノ

里程中最後ノ二露里ハ道路ハ修繕中ナリシヲ以テ我輩公使ノ一行ガ経過セシ際車道ハ「グリチヤ」要塞ヲ出デシヨリ八露里ノ間ノミナリ次ニ進行スレハ狭谷ハ弥々狭縮ス其道路ノ両端ニハ「アルテヤ」ノ繁茂スルアリ狭谷ノ幅ハ漸次ニ狭縮スルヲ以テ兇暴ノ徒ノ襲撃ヲ防クハ唯正面ニ止ル但シ其狭谷ノ両岸ハ実ニ嶮峻ナル岩石ニシテ其高サハ銃丸モ尚ホ達シ難キモノナリ「キズイル、クルガン」ヲ距ル十露里ノ所ニ於テ「グリチヤ」河ノ左岸ニ渡ル橋梁アリ是「キルギス」人ノ構造セシモノニシテ至テ粗悪ナリ然レ𪜈道路ハ尚ホ其石岸ニ通セリ

狭谷ハ俄ニ廣濶ニ変シ円形ノ窪地ヲ為ス此窪地ハ赤色粘土ヨリ成リシ丘陵ヲ以テ繞囲セリ又此窪地ヲ去ル十六露里ノ所ニ於テ「グリチヤ」河ノ其石岸ヨリ「ムルダシ」ト名クル河流アリテ注入ス該河ノ狭谷ニ沿ヒ「ユルテラク」峠ヲ過キテ「アライ」ニ趣クノ道路アリ

「グリチヤ」河ト「ムルダシ」河ト相ヒ合スル所ニ於テ「グズイルグルガン」ト名クル戍所ノ故蹟アリ

戍所ハ六十年前浩罕ノ「ダマール」ノ設置セシモノニシテ方形ナリ一方面ノ廣サ二十「サージエン」ニアリ皆赤色粘土ヲ以テ築造シ各隅ニ防禦砲臺ヲ備フ戍所ハ貢租ヲ徴収スル為メニ築造セシモノナリシガ現今ニ至テ唯其墟趾アルヲ見ルノミ

「キスイルスー」ヨリ「ヤンギアルイク」ニ達スル道路ハ或ハ細石ノ多キ所アリ或ハ線杈ノ道路アリ戍地ハ谷間狭縮シ河底至テ深ク或ハ地勢下低スルアリ或ハ河岸ノ急斜スルアレバ若シ過ラ物ヲ落スヿアレバ直ニ轉ジテ河中ニ入ル未タ「ゼンギアルイク」ニ達セサルヿ二露里ノ所ニ於テハ脆弱ノ橋梁ヲ渉リ道ヲ左岸ニ取ラザル可カラス其橋梁ハ至テ脆弱ナルモノナレハ各人ノ通行スル毎ニ震動セリ然氏四人ノ騎者ヲ維持スルニ餘リアリ故ニ数人ニシテ野戰砲ヲ運搬スルヲ得ベシ「ヤンギアルイク」嶺ニ到ルノ前一露里ニシテ廣地アリ兵隊ヲ休息スルニ充分ナリ我輩モ亦タ戍所ニ於テ一泊セリ戍地ヲ遊牧スルモノハ「キルギス」人ノ一種「クヽチユリ」

参謀本部

人ナリ「グリチヤ」ノ要塞ヨリ我輩ノ宿泊セシ所マデハ其里程二十二露里ニシテ其内十露里ハ車道ナリトス其他ハ駄路ニシテ兵隊ノ進行スルモ尚ホ難シトス

故道ヲ車道トナスニハ多クノ修繕ヲ要セサル可ラス且ツ其破壊スルモ亦至テ速カナリ故所ニ於テ野民ノ侵襲ヲ防禦スルハ甚タ易シトス蓋シ其害ヲ我輩ニ與フルモ唯其通行ヲシテ遅延ナラシムルノミニシテ決シテ通行ヲ止ムル等ノヿ之アルナシ

原野ニアル乾草ハ已ニ減少シテ馬ヲ養フニ足ラス蓋シ其不足ハ翌年ノ三月我輩ノ帰路スル時ニモ我輩ヲ苦メシモノナリ「ギルギス」人ノ冬籠所ヨリ大麦ヲ購求スレハ唯平和ノ時ニ少数ノ人員ヲ養フニ足ルノミ家畜ノ如キモノ亦然リ秣料及ヒ牛肉ハ「グリチヤ」ヨリ購求セサレハ得ベカラザルナリ薪材ハ至ル処欠乏スルナシト雖モ之ヲ伐採スルニハ数時間ヲ費サヽルヲ得ス飲料ハ至ル処不足ヲ告グルヿナシ

十月十一日「ヤンギ、アルイ」ヒヨリ「スーヒ、クルガ

「ン」ニ到リシ道路ハ則チ十七露里ナリ
我輩ノ旅泊セシ所ヨリシテ「ヤンギ、アルイク」ノ山ニ達スルマデノ道路ハ「グリチャ」河ノ左岸ニ在リテ細石多キ土地ナリ「ヤンギアルイク」山ハ西方ヨリ河岸ニ近ツキ道路ニ逼ル故ニ此所ヲ通過スルニハ「ヤンギ、アルイク」山ノ右ニ在ル草原ヲ経過セザル可ラス且ツ之ヲ経過セント欲スルニハ歩行セザルヲ得ズ
荷物ヲ有スルモノハ「ヤンギアルイク」ノ右端ヲ通行スル能ハザルニ依リ「グリチャ」河ノ左岸ナル石塊多キ岸辺ヲ通行セサルヲ得ス渾テ「ヤンギ、アルイク」嶺ハ嶮岨ナル要地ナリ露国人ノ「オーシ」府ヨリ噶什噶尓府ニ行クヲ防止セントスルニハ此地尤モ支ヘ易キヲ以テ敵ノ頼テ以テ要地トスル所ナリ
此要地ハ土人ノ能ク知ル処ナルニ依リ千八百七十六年四月土人ハ此地ニ於テ将官「スコベレウ」氏ヲ防遮セリ将官「スコベレウ」氏ハ之ヲ避ケンガ為メ正面砲撃ヲ試シルヿ僅カニ一回ニシテ土人ハ悉ク脱走セリト云フ若シ土賊ノ侵撃

ノ侵襲スルノ時其将勇猛ナレハ其側面ヲ攻撃セハ勝利必然ニシテ損傷少ナカルヘシ

「ヤンギ、アルイク」ノ近傍「グリチヤ」河ノ左岸ニ在ル道路ハ甚タ狭隘ニシテ殊ニ最初一百「サーゼン」ノ間ヲ以テ甚タシトス或ハ岩石ノ突出スルアリ又或ハ狭谷ヲ為スノ所アリ最初ニ渡ル處ノ橋ハ極メテ低ク且ツ粗悪ニシテ細石其上ニ散布スルモノアリ之ヲ渡ラント欲スルニハ一人ニシテ通過セザル可カラス其力ハ僅ニ山戦砲ヲ維持スルニ足ルノミ又道路ト雖圧騎者ハ列ヲ並ブ可カラス然レ圧此橋ハ千八百七十七年三月我輩ノ経過セシ時ニハ大ニ修繕ヲ加ヘラレタリ我輩ノ率ヒシ駄馬ノ内一頭ハ道ニ轉倒シ殆ント死ニ至レリ橋ヲ渉リシ後道路ハ岩石ノ突出セル間ニ在リテ石塊極メテ多シ

第一ノ橋ヲ去ル手露里ノ所ニ於テ「ベルリヤ山リ」河ヲ渉ルノ橋アリ此橋ハ極メテ粗悪ナルモノナルニ依リ之ヲ渡ランヨリハ寧ロ筏ニ乗テ河流ヲ越ユルニ如カス何トナレバ十月ハ尚ホ筏ヲ浮ブルヲ得レバナリ此橋ヨリ少シク上流

ノ方ニ於テ同河ニ架スル一橋アリ此橋ハ千八百七十六年二月「アブヴルベク」ノ為メニ破壊セラレタリ

其後道路ハ屈曲シテ「グリチヤ」ノ右岸ニ沿ヒ或ハ全ク其河腹ニ下リ或ハ線枝路トナリ三百乃至四百「フート」ノ高地トナル其線枝路ハ車ヲ通スルニハ防障ナキモノナリ總テ此道路ハ石塊極メテ多シ

道路ヲ繞囲スル山嶽ハ火剛石ヨリ組織ス「グリチヤ」ノ袖川ノ岸辺ニハ叢業樹ノ繁茂スルアリ

其内「アルチヤ」木名ノ林ハ大ニ蔓延シ道路ニ達ス

其他又榉樹アルヲ観ル前夜ノ宿泊所ヲ距ル七露里ノ処ニ至レハ狭谷ノ幅稍々廣張ス是ヨリ前宿所ヨリ六露里ノ処ニ古橋ノ遺跡アリ亦少シク進行セレ所ニ於テ「グリチヤ」ノ左岸ニ渡ルベキ新橋ヲ築造シ以テ其左岸ノ道路ニ修繕ヲ加フレハ車道ヲ作ルイ至ツテ易スシ又七露里半ノ所ニ至レハ「グリチヤ」ノ狭谷ハ其東方ヨリ「クイルクーリ」ノ狭谷ト連ナル「クイルクール」ノ狭谷ニハ「タウーク」人ノ冬籠所アリ是ヨリ進行

スルヿ四露里ノ所ニ於テハ「ダルガルイク」ノ狭
谷ト連ナル
「ダルガルイク」狭谷ハ「カルガナークバシ」山ニ沿
フモノニシテ同名ノ「カルガナーク」細流ハ該山
ヨリ其源ヲ発セリ「ダルガルイク」狭谷ニ沿フテ
「タウーク」人ノ冬篭所アリテ其数十戸乃至十五
戸ナリ冬篭所ハ籬ヲ以テ繞囲シ其籬内ノ家屋
ハ厩ノミニシテ主人ハ天幕ノ内ニ住ス家畜ハ
夏冬ヲ別タズ原野ニ於テ牧養スルモノナレハ
秣料ヲ貯蓄スルヿ最モ少シ此狭谷ニ沿フテ少

佐「ヨノウ」氏ノ囲陣アリ是レ「ヤンギアルイク」巔
ニ在ル敵ニ當ラントスルモノナリ「カルガナー
ク」河ニ接近シタル道端ニ一平面アリ其廣袤大
ナラザレドモ能ク石塊ヲ掃除セリ蓋シ其状ハ牧
畜場ノ如シ同行セシ土人ノ言フ処ヲ聞クニ是
常ニ大麦小麦ヲ耕作スル所ナレドモ今年ハ土
地ノ人民騒擾ヲ醸セシヲ以ヲ耕作セサリシモ
ノナリト狭谷ヲ行クヿ一露里ニシテ道路ハ斑
点石ノ突出セシヲ以テ通行ニ不便ナリ尚ホ進
行スレバ狭谷ノ幅ハ廣張シテ百「ザージエニ」ト

」ナリ道路ハ「カルガン、バレ」河ノ凹地ニ入ル其凹
地ニハ旧キ白楊樹ノ生長スルヲ見ル坎地ヲ名
ケテ「クリヤンカ、ツカイ」ト云フ其道路ハ一露里
ノ間ニ「グリテヤ」河ノ浅瀬数所アリ其水甚タ深
カラザリシト雖𪜈之ヲ渡ルノ際我輩ノ牽キシ
駄馬一頭ハ水ニ溺レテ殆ント死ニ瀕セリ「ツウ
カイ」ヨリ「スーヒ、ノルガ」ニ達スルマデノ道路ハ
秋冬二季ハ車道ト言フテ可ナル者ナリ又以上
ノ浅瀬ハ春夏二季ハ其水至テ多ク其深サ殆ン
ト馬鞍ニ及ヒ郵馬ハ之ヲ渡ルガ為メニ大ニ苦

難ヲ極メサレバ能ハサル所ナリ
宿泊所ヨリ十六露里ノ所ニ於テ「グリチヤ」谷地
ハ廣濶ナル窪地ヲ為ス其南部ハ「グリテヤ」ノ狭
谷アリ其内ニ「アライ」ニ通スル道ヲ通ス西部ニ
ハ「タウシカン」狭谷アリ道ヲ其狭谷ニ取レハ「ム
ルダシ」及ヒ「クズイルクルガン」ヲ過キテ「ヤンギ
アルイク」ニ達スルヲ得ル東部ヨリハ「テレーク」
狭谷ニ入リ是ヨリ「テレーン、ダワン」ニ行クノ道
アリ我輩ハ坎道ニ依リ「スーヒ、クルガン」戍所ノ
近傍ヲ経過シテ宿泊所ニ着セリ蓋シ「スーヒ、ク

参謀本部

ルガン」ノ戍所ハ人民ヨリ租稅ヲ徴集スル為メニ設ケシモノナリ

「スーヒクルガン」戍所ノ設置セラルヽ所ハ則チ噶什喀尔府ヨリ来ル道ト「アライ」府ヨリ来ル道ト相ヒ合スル所ニ在リテ最モ重要ノ地ナリ

以上我輩ノ経過セシ道路ハ「グリチヤ」ヨリ「ヤンギ、アルイク」ニ達スル道路ニ比スレハ之ヲ車道ト成スニハ巨額ノ費用ヲ要スルモノナリ最モ多額ノ金ヲ費ヤサスシテ修繕セラル可キモノハ橋梁ナリ「ヤンギ、アルイク」ヨリ「グリヤンガ、ツルカ」ニ至ルマテノ間ハ騎者列ヲ並ヘ難シ且其道路ハ破損シ易ク多数ノ兵員数日ノ間進動スル片ハ其棧板路及ヒ橋梁ヲ破損スルヿ必セリ「ヤンギアルイク」ニハ両側面ヨリ相ヒ達スルヿヲ得ヘシ

「スーヒ、ガルガン」ノ地方ニ於テ十月ノ頃尚ホ鄭馬ヲ原野ニ放テ養フヲ得ヘシ然レモ騎兵二大隊以上ノ馬ヲ養フニ足ラス家畜ハ「キルギス」人ノ一種「サルツラル」人ヨリ容易ニ購求スルヲ得ヘシ薪材ハ至ル処饒多ニシテ橋梁ノ材木モ亦

参謀本部

直チニ之ヲ得ベシ而シテ水ハ決シテ不足スル処ナシ

十月十三日経過セシ道路ハ「スーヒ、クルガン」ヨリ「ザールイ、クチユーク」ノ天然境ニ到ル間ニシテ里程十五露里ナリ

「スーヒ、クルガン」ヨリ道路ハ狭隘ハ挟谷ニ因テ流ル、「ラレーシス」小河ニ沿テ通ス「スーヒ、クルガン」ヲ去ル四露里ノ所ニ於テ「ラレーク、イリ」ト名クハ窪地ナリ此窪地ノ内ニハ旅泊処アリ数戸ノ「サークリ」小屋ヲ構造セリ商人ノ宿泊スルモノナリ其周囲ニハ「サルワラル」人ノ「ユルタ」二十戸アルヲ見ル是「サルワラル」人ノ冬篭処ナリ

以上ノ「ザーシリ」及ヒ冬篭処ハ嘗テ将官「スコペレウ」氏ノ為メニ焼燬セラレシガ現今ニ至リ再ヒ構造セシモノナリ

「スーヒ、クルガン」ヨリ天然境「ザールイ、クチユーク」ニ達スル道路ハ東ニ向テ直行スルモノナク窪地ノ南部ニハ「アク、キセ」ト名クル狭谷アリ「シヤルツ」峠ヲ過キ「アライ」ニ達スルノ道之ニ在リ土人ノ言フ所ヲ聞クニ「アク、キヤ」ノ狭谷ヲ距

ル六露里「ジャルツ」峠ニ行クノ道ト天然境「スー
ル、クルガン」ニ至ルノ道相ヒ合スル処ニ於テ「ク
リールーク」湖アリ其直径百乃至百五十露里其
底最モ深シト云フ以上ノ道路ニ於テ「テクチヤ
ク」山ニ積雪アルヲ見ル狭谷ハ進ムニ従テ石塊
多ク道路ハ或ハ破壊ニ因リ或ハ破礫ニ因テ道
ス其間粗悪ナル橋梁数條ヲ架ス其橋梁ノ内第
二ノ橋ハ大ナラズト雖氏至テ嶮峻ナリ秋季ハ
過半以上ノ橋ヲ渡ラズシテ浅瀬ヲ渡ルヲ得ヘ
シ

旅泊ヲ距ル六露里ノ所ニ於テ嶮峻ナル岩山ノ
上ニ架スル二橋ヲ渡ラザル可カラス然ニ橋ヲ
去ル数歩ニシテ一人ノ遺骨アリ同行セシ「キルギ
ス」人ノ言フ所ニ因レハ支那人ノ噶什噶尓ニ侵
入シテ七人ノ「ホドジヤ」ヲ窘逐セシ後噶什噶尓
人ノ安地ニ脱走セシモノ寒気ノ為メニ苦メラ
レ凍死セシ遺骨ナリト我輩尚ホ進行セシニ又
凍死セシ者ノ遺骨ヲ見タリ此狭谷ハ我輩ノ経
過セシ狭谷ノ中最モ澹タル暗澹タルノ風景ア
リテ以上ノ説話ヲ聞クトキハ更ニ惨憺ノ情ヲ起

参謀本部

サシム坎狭谷ハ則チ嗚什喀尓人ノ脱走シテ苦難ヲ受ケシ遺跡ナリ又進行セシニ土人ハ我輩ニ示スニ將官「スコベレウ」氏ノ軍兵ニ属セシモノ四人ノ遺骨アリシ所及ヒ数人ノ騎兵殺戮セラレシ所ヲ以テセリ宿泊ヲ距ル十露里半ノ所ニ於テ狭谷ノ南方則チ其右端ニハ「カイーヅ」狭谷アリ之ト連合ス蓋シ「カイーヅ」ノ狭谷ハ「テレーク」ノ狭谷ニ比スレハ尚ホ一層嶮峻ニシテ岩石ノ突出スルヲ見ル又其谷底ニハ「アルテヤ」樹頗ル繁茂ス坎狭谷ヲ経過スレハ道路ハ狭クシテ線枚トナル然モ甚高カラス而シテ岩石ノ突出スルアルヲ以テ道路狭縮シ其幅数「サージエ」ニ過ギズ旅泊ヲ距ル十三露里ノ所ニ於テ直立ノ峻巖二箇アリ道路ノ両端ニ在ルヲ以テ恰モ一大石門ヲ建ツルガ如シ其高サ数百「フート」ニシテ其幅二十歩ナリトス坎地ヲ名ケテ「ダルワズ」ト言フ則チ門ノ義ナリ

坎石門ニ入ラントスル口ニ於テ障礙ヲ設ケ之ニ砲台ヲ備ヘシモノハ今日マテ尚ヲ存セリ

「ダルワズ」狭谷ヲ過クレハ忽チ道路ノ北方ニ「ワルムタイ、ウヤ」ト名クル狭谷アリ蓋シ「ワルムタイ、ウヤ」トハ鷲ノ巣ト曰フノ義ナリ此狭谷ニハ細流アリ冬時ハ其水涸ル丶モノナリ是河モ亦「ワルムタイ、ウヤ」ト名ク「ダルワーズ」狭谷ヲ過クレハ「テレーク」狭谷ヲ為スノ山脈ハ其勢漸ク緩ニシテ種々ノ植物特ニ「アルチヤ」ノ生長スルヲ見ル旅泊ヲ距ル十四露里ノ所ニ於テ道路ノ北方ニ「ツユーク、ス」狭谷アリ是夏時「キルギス」人ノ一種「サルツラル」人ノ遊牧スル所ナリ

スーヒ、シルガン」ヲ距ル十五露里ノ所ニ於テ天然境「サールイ、クチユーク」アリ我輩ハ此所ニ旅泊シ求[illegible]蓋シ「サートルイクチユーク」トノ黄色ノ犬ト言フ義ナリ此天然境ノ近傍ニ於テハ「アルチヤ」河岸ニ生長セリ

以上ノ道路ヲシテ車道トナサント欲スルニハ或ハ石塊ヲ去リ或ハ道幅ヲ廣メザル可カラザルニ因リ之ヲ修繕セント欲スルニハ非常ノ金額ヲ要スルモノナリ然リト雖モ之ヲ前路ニ比スレハ其修繕稍々易キモノト謂ハザル可カラ

ズ蓋シ此道路ハ破損シ難キヲ以テナリ其橋梁ハ破損スルト雖圧秋季ヲ除クノ外通行ノ障礙トナラサルモノナリ總テ此道路ハ野賊ノ侵襲ヲ防禦スルコト甚易シ就中「ダルワズ」近傍ヲ以テ最トス然レ圧此道路ハ甚タ進行シ難キモノトス野草ハ駄馬ヲ放牧スルニ足ラズ乾燥セル秣料ハ「キルギス」人ノ一種「ザルワラル」人ニ就テ之ヲ買求セザル可ラス蓋シ該人種ヨリハ家畜ヲモ亦タ買求スルヲ得ルナリ薪材ハ随意ニ採拾スベシ水モ亦タ至ル処アラザルナシ

十月十四日経過セル道路ハ「ザールイクチュー」ノ天然境ヨリ「テレーク、ダワン」ノ峠ヲ過キテ天然境「タ[illegible]」達[illegible]シモノニシテ其里程十八露里アリ

旅泊地ヨリ一露里ヲ進行スレハ道路ハ高地トナリ其幅狭隘ニシテ線板路ナリ其高地ヨリシテ狭谷ノ底ニ入ランヘトスルニハ四露里ヲ下ラサル可カラス此地ヲ名ケテ「コマール」ト曰フ渾テ此道路ニハ岩石ノ突出セルアリテ騎行ス可カラス而シテ駄馬ハ大ニ其四足ヲ傷ス

此所ニ到レハ「アルチヤ」ノ生長スルモノナク且ツ其他ノ植物モ之ヲ生セサルヲ以テ至テ薪材ニ乏シ路間ニハ「デレーク、スド」ノ浅瀬アリ此浅瀬ハ其水底深ナラスト雖モ石塊極メテ多シトス数百歩毎ニ立止リテ人馬ヲ休息セシメザル可カラス「デレーク、グワン」ノ峠ニ到ラントスルノ半路ニ一廣場アリ人馬ヲ休息セシムルヲ得ル此廣場及ヒ此廣場ヨリ峠ニ至ルマデノ地ヲ名ケシ「ジールウイ」ト曰フ則チ土屋ノ義ナリ数年前此所ニ於テ土ヲ以テ「サークリ」ヲ築造セシガ数年ニ及バスシテ破壊シ現今ニ至テハ唯其遺跡アルノミナリ

「ジ[illegible]」廣場ノ前ニ列峯アリ「アクジュアールイ」ト名ク則チ馬ノ鬣ノ義ナリ道路ハ則チ其峰上ニ通スルコト其長サ凡ソ二露里ナリ此峯上ハ積雪アリト雖モ深サハ一「フード」ニ過キサルヲ以テ駄馬ハ至テ歩行シ易シトス「デレーク、スー」河ハ別レテ二トナリ二河ノ水源ハ是ヨリ前一露里ニ在リ道路ハ以上ノ二流ヲ分截スル山嶽ノ上ニ在リ此山ヲ名ケテ或ハ「カイル、ウムシュク」

トヨヒ或ハ「グイル、ステーピ」ト曰ヒ又或ハ「ツムシユノペレノレーツアト」曰フ
「グイル、ツムマク」山ハ嶮峻ナルモノニシテ其前ニハ千古ノ積雪ヲ戴ク数山アリ旅泊ヨリシテ三時間少シモ休憩セズシテ進行スルノ八露里ニ及ベバ道路ハ山嶽ノ麓ニ沿フテ其風景頗ル美ナリ
此山嶽ヲ則チ「ガバル」ガト名ケ道路ハ其山坂ノ嶮峻ナル所ニ昇リテ山上ニ在リ其後ハ則チ漸ク峠ニ上ルノ初路トナル

峠ノ最モ高キ所ハ嶮岨ヲ極メ岩石突出シ馬ハ列ヲ並ブ可カラス故最高所ヲ名ケテ「チユチヤーヒク」ト云ヒ晴雨計ヲ以テ其高度ヲ計リシニ海面ヲ去ル壱万三千「フート」アリ土人ノ言フ所ニ因レバ頂上ノ積雪融解スルハ盛夏ニ至リ僅ニ数日間ナリト峠ヲ繞囲スル山嶽ハ峠ヨリ高キコト尚ホ五百「フート」ニシテ千古ノ積雪ヲ戴クモノトス「デレーク、ダワン」峠ヲ越ヘテ降ルトキハ殊ニ嶮岨ニシテ石塊極メテ多シ
三不渓アリ峠ヲ去ル三露里ノ所ニ於テ相合シ

ヲ一トナリ以テ狭谷トナル其三十溪ニハ各々
中流アリ其三小流相ヒ合シテ一トナリ以テ東
部「ラレーク」河ヲ為ス
道路ハ小溪ヲ分界スル山頂ニ在リ後三溪相ヒ
合スル所ヨリシ草原ニ因テ通ス其草原ヲ名ケ
テ「アルプ、スヤーク」ト云フ則チ「アルプ」ノ骨ト言
フ義ナリ尚ホ進行スレバ道路ハ「ラレーク」河ノ
河腹ニ因テ通ス
天然境「サールイ、クテユーク」ヲ距ル十八露里ノ
所ニ於テ石塊ノ多キ廣場アリ「タミ、ウイ」ト名ク
石屋ノ義ナリ其所ハ道路ノ南ニ狭谷アリ未タ
其名ヲ命セズ嘗テ其地ニ石屋アリシト雖𪜈浩
罕国ノ[illegible]モノトナシテ意ヲ留メサルニ因
リ遂ニ破壊スルニ至レリ
以上ノ道路ヲシテ車道トナサントスルニ於テハ
石塊ヲ除キ凸凹ヲ平坦ニセサル可カラザルニ
係リ非常ノ金額ヲ要ス実ニ其道路ハ粗悪ニシ
テ大砲ノ如キハ皆ナ人力ヲ以テ運送セザル可
カラザルヌナリ冬時其道路ハ積雪ノ填塞スル
所トナル牛ハ車行ニ易シトス路中最モ危難ヲ

参謀本部

醸スモノハ降雨ニヨテ之カ為メ数日間歩行ス可カラザルヿアリ其外降雪尤モ深キハ又歩行ス可カラザルヿアリ此時ニ當リ商隊ハ「キルギス」人ノ一種「サルツラル」人ノ救助ヲ請ハザル可カラス「キルギス」人ハ其「ヤーク」或ハ「クタース」ト云フ蓋シ橇ノ如キモノナルヘシヲ以テ旅荷ヲ運送シ雪中ニ馬ノ通行スベキ道ヲ開ク

「サルツラル」人ハ数十年前ヨリ商隊ノ運輸ヲ助ケテ以テ其生計ヲ営ムモノナリ実ニ「サルツラル」人ノ商隊ヲ助クルヿハ最モ所要ナルモノナレハ浩罕汗ハ夙ニ「サルツラル」人ノ貢租ヲ免シ毎歳「コク、スー」河ヨリ「スーヒ、クルガン」マデノ道路橋梁ヲ修繕シ途上ノ石塊ヲ去リ商隊ノ駄馬ノ為メ雪中ニ通路ヲ開カシメタリ

總テ「サルツラル」人ハ其数僅ニ四十乃至五十個ノ天幕ニ住スルモノニシテ其貢租ハ至テ寡少ナルモノナレバ現今ニ至リ浩罕國滅亡シテ露国ノ管轄スル所トナリシト雖尚ホ此人種ニハ特許ヲ以テ昔日ノ制ヲ存シテ可ナリ「サルツラル」人ノ首長「ムスリマン、ビー」ハ我輩ニ嘆訴シ

參謀本部

參謀本部

テ曰ク露国ノ臣民トナリシ以来露政府ハ新法ニ依テ「ザルワラル」人ヲ御シ貢租ヲ徴集シ又之ヲ力役スルノ例セハ「グリチヤ」ヨリ「アライ」ニ至ルノ道路ヲ修繕セシムルカ如シ故ニ「テレークダワン」ノ道路ハ昔日ノ如キ体面ヲ為スニ至ラザルナリト

以上ノ道路ニ於テ破損セシ所ハ数條ノ橋梁ト線桟路ナルモ秋冬二季ノ通行ハ決シテ困難ナラズトス

青草ノ秣料トナルヘキモノハ峠ノ両面ニ在リト雖モ甚タ多カラス薪材ハ天然境「サトルイ、クチユー」ニ於テ豫備セザル可カラス水ハ概ネ道路ノ両端ニ在リ

十月十五日経過セシ道路ハ「ヌレ、ウイ」ヨリ天然境「ケ、イケジヤク」ニ到ルモノニシテ其里程十六露里アリ

道路ハ「テレーク」狭谷ニ在リ東「テレーク」ノ河岸ニ沿フ狭谷ヲ為スノ山ハ稍々小ニシテ希ニ植物ノ生長スルアルヲ見ル

薪材ハ一ツモ求ム可ラス青草ハ尚ホ我輩ノ駄

参謀本部

馬ヲ養フ可キモノアリ前キニ峠ニ昇ルノ際ハ
積雪一「フート」アリシト雖モ降路ハ積雪アルヿ
ナク唯々絶峯ノ積雪ニ掩ハルヽアルノミ然レ
モ寒気ハ極メテ酷烈ニシテ十月十五日ヨリ同
十六日ニ跨ル夜間ニ於テハ勤氏ノ寒温儀零下
五度ニ下レリ

旅泊ヲ距ル三露里半ノ所ニ於テ「ヲレーク」河ニ
ハ南方ヨリ[illegible]テ「スゲート」河ノ注入スルアリ該
河ハ「スゲート」狭谷ヲ流ルヽ十六露里ナリ尚ホ
進行スルヿ二露里程ニシテ「デレーク」河ハ其南
方ヨリ流下スル「クルダム」河ト連合ス

同行セシ土人ハ我輩ニ告ルニ「クルダム」河ノ上
流ニ上[illegible]ニ沿フテ「アライ」ニ達スル通
路アルヿヲ以テセリ蓋シ「アライ」ニ行クノ道ハ
「クルダム」ノ狭谷ヲ過ギ「アルチヤラ」ノ狭谷ヲ経
テ其後「ミツル」峠ヲ越ヘ「アイリヤム」河ノ谷地ヲ
過キテ「アライ」ニ達スルモノナリ又我輩ノ案内
ノ言ヲ聞クニ其「アライ」ニ通スル道路ハ我輩ノ
経過セシ時ヨリシテ二週間ヲ過ル時即チ十一
月一日ニハ二十組ノ山羊群通行スヘシ其一組

参謀本部

ノ山羊群ハ三百頭乃至一千頭アルモノナリ総テ牧山羊ハ「ヲーシ」郡ニ住スル「キルギス」人ノ種族ナル「ムングト」種中「ヤパラク」人「タラウカン」人「ムズーグ」人及ヒ其他ノ人種ノ所有スルモノニシテ来春マテ「クルダム」狭谷「スゲート」狭谷ニ於テ牧養セザル可カラザルモノナリ蓋シ牧二狭谷ハ概ネ積雪ノ填塞スル所トナラサルヲ以テナリ春時ニ及ヒ山羊ハ「ヲーシ」ニ駆逐シテ之ヲ牧シ秋ニ至テハ又之ヲ引テ「アライ」ニ帰ル是再タヒ十一月ヲ待チ以上ノ二狭谷ニ到ランガ為メナリ「ムングト」人ハ「キルギス」人種中最モ富饒ナルモノニシテ其冬竃所ハ「ヲーシ」府ノ近傍ニ在リ

三月ノ末ニ於テ以上ノ峠ヨリ「コクスー」河ニ到ルノ道ハ「テレーク」河上ノ氷路ナレバ若シ氷解スルトアレバ死ヲ免レザルナリ

狭谷ヲ進行シ天然境「クルダム」ヨリ二露里ノ所ニ於テ「カブカ」ト名クル門アリ狭谷ハ漸次ニ縮迫シ遂ニ両端ノ岩石相ヒ合シ覆道ヲ為スノ所アリ其幅ハ十五歩餘ニシテ其長サハ数百歩ナ

参謀本部

リ其間過半ハ「テレーク」河流通シテ道路ハ或ハ其一端ニ通シ又或ハ其一端ニ轉ス而シテ其一端ヨリ一端轉スルニハ或ハ浅瀬ヲ渉リ或ハ橋梁ヲ渡ラザル可カラズ其橋梁ハ二條アリシモノナレ圧千八百七十六年「アブヅル、ベク」ハ毀テ薪材ノ用ニ供セリ

「カブタ」嶺道ヲ出デントスル所ニ於テ岩石ノ畳積スル[illegible]高キモノアリ「テレークス」河ヲ支障シ俄ニ南方ニ拆流セシ又其河幅ヲ壓搾ス冬時嶺道ニハ氷塊アルヲ以テ其北方ニ在ル「アイル、タン」ノ岩石ト「ムズイルバシ」ノ岩石トノ間ヲ経過セサル可カラス

「カパ[illegible]」嶺[illegible]アル岩石ヨリシテ道路ハ則チ峠トナル是峠尤モ嶮岨ニシテ「コクス」河ノ谷地ニ降ルモノナリ蓋シ「コクス」河ハ噶什噶尓ノ「クズイル、スー」河ノ支流ナリ

「コクスー」河ハ其左岸ヨリ一小流ヲ受ケ且ツ東「テレーク」河ノ注入セシヨリ大ニ其水量ヲ増加シ十月ニ至ルト雖圧其水流尚ホ甚タ廣シ河底ニハ蘆葦ノ生長スルアルヲ見ル道路ハ「コクス、ス

山河ノ浅瀬ヲ渡リ他岸ニ到リ貢税ヲ徴集スル為メニ築キシ一戍所ヲ過キ嶮峻ナル長路ヲ歩シテ第一「イーケ、イジヤク」峠ニ上ル

以上ノ浅瀬ハ三月ノ末ニ於テ其面氷結セルヲ以テ河水ハ氷底ヲ流ル

第一「イケ、イジヤーク」峠ニ上ルノ末ニ於テハ野砲兵ノ為メニ革紐大砲ヲ挽クモノ及ヒ歩兵ヲ要セサル可ラス

此峠ノ高度ハ「アネロイード」晴雨計ノ一種ヲ以テ計算スルニ一万「フート」アリ渾テ山上ニハ石塊多カラズ樹木生長セスト雖モ諸草之ニ繁茂セリ峠ヲ降ルノ路ハ嶮峻甚シカラス廣濶ノ草原アリテ「イ[illegible]」河ハ其草原ニ因テ流ル草原ニ通スルノ道ハ修繕ヲ用ヒズシテ車行スルヲ得ヘシ此草原ハ其近傍ノ草原ト連合ス峠ノ坂ヲ距ル五露里ノ所ニ於テ「イケ、イジヤーク」ノ要塞アリ草原ニハ雜草ノ繁茂スルノミナラス「シポウンク」ト名ケル灌木ヲ生ス又此草原ハ南方ニ向テ廣張シ其前面ヲ望メバ列峯アリテ千古ノ積雪ヲ戴ケリ此列峯ノ高所ハ直ニ我華ノ前

ニ當リシモノニシテ名ケテ「アリタバル」ト曰フ
以上道路中「カープカ」隘道マテヲ車道トナサン
ト欲スルニハ道路ノ石塊ヲ掃除シ且ツ其幅ヲ
廣ゲサル可ラス故ニ「カープカ」ノ道ヲ車道ト為
スハ至テ巨額ノ費用ヲ要スルモノナレハ寧ロ
他ニ新道ヲ開設スルニ如カサルナリ次ニ「カー
プカ」隘道ノ出口ニ在ル峠特ニ「イケ、イケジヤー
ク」峠ヲ開鑿シテ車道ト為スニハ更ニ巨多ノ費
用ヲ要セザル可ラス道路ヲ遮蔽セント欲スル
トキハ「カープカ」ノ隘道ヲ閉塞スルト其内ノ河流
ニ架スル数箇ノ橋梁ヲ破壊スルニ在リテ其他
ハ道路ノ防害ヲ為シ難シトス
「カープカ」ノ入口ニ於テ防禦ヲ設ケント欲セハ
成得ベカラサルニアラサレ氏之ヲ「カープカ」ノ
出口ニ設クルニ比スレハ稍々不便ナリトス何
トナレハ「カープカ」ノ出口ニ在ル岩石ノ畳積ス
所ニ於テ防禦ヲ為スキハ「コクス」谷地モ「カー
プカ」隘道モ合セテ防禦セラルヽモノナレバ
ナリ之ニ次グノ要所ハ乃チ「イケ、イケジヤーク」ノ
峠ナリ

以上ノ道路ニ於テハ薪材窮乏スト雖モ秣料ニ充ツル青草ハ至テ良種ノモノニ属ス而シテ十月ニ至ルモ尚ホ充足セリ水ハ充分ニシテ其質モ亦良ナリ

十月十六日経過セシ道路ハ「イケ、イジヤーク」ヨリ「イルケシタム」ニ到ルモノニシテ其里程十七露里アリ

「イケ、イジヤーク」天然境ヨリ「イルケシタム」ニ趣ク路中ノ最初三露里ノ道路ハ「イケ、イジヤーク」河ノ流過スル谷地ニアリテ該河ニ沿ヘリ其地勢漸ク下低セリ其間ハ修繕ヲ加ヘズト雖モ車道ト謂フヲ得ベシ尚ホ進行スレハ道路ハ河岸ヲ去リ[illegible]北東ノ方位ニ轉シ廣濶ナル草原ニ入テ第二「イケ、イジヤーク」峠ニ昇ル峠ノ最モ高キ所ハ旅泊ヲ距ル六露里半アリ其昇坂ハ最後ノ二百「サージエン」ヲ除クノ外ハ稍々嶮峻ナラザルモノニシテ少シク修繕ヲ加ヘ道路ノ石塊ヲ掃除スル件ハ車道ト為スヲ得ベシ最後二十「サージエン」ハ昇坂甚タ嶮岨ニシテ桟道トナリ植木ハ能ク生長シテ石塊多カラス

参謀本部

此昇坂ニ荷車ヲ運送スルニハ革紐及ヒ歩兵ノ幫助ヲ要セサル可ラス又昇阪ハ無對高度一万一千「フート」ノ所ニ到レハ其嶮峻ナルコト殊ニ甚タシク歩行シテ荷物ヲ擔フモノハ其重量少シト雖モ必ス疲労シテ呼吸急促セリ

降坂ノ初メ百「サージエン」ハ極メテ嶮峻ニシテ大砲及ヒ荷車ヲ運送スルニハ革紐ナカル可カラス

其後道路ハ其幅大ニ廣張シ八十「サージエン」ニト為リ「カラワンクリ」ト名ル小溪ニ通ス「カラワンクーリ」トハ商隊ノ谷地ト言フノ義ナリ小溪ノ両端ニ在ル山峯ハ嶮峻ナルニ非ス小溪ノ底ニハ植物繁茂ス石炭石ノ突出スルアリ旅泊ヲ距ル十露里ノ所ニ至レバ両端ヨリ岩石突出シテ小溪ヲ壓迫シ石門ヲ成ス蓋シ其岩石ハ黒色ノ石灰石ヨリ成立スルモノナリ

峠ヨリ此岩門ニ至ルノ道路ハ最初ノ百「サージエン」ヲ除クノ外修繕ヲ加ヘズシテ車道ト為スヲ得ベシ石門ヲ為セシ岩石ノ間ニハ洞窟アリ一人ノ降雨ヲ避クル為メニハ最モ便ナルモノ

トス一洞窟ノ近傍ニ墳墓アリ其製ハ至テ整備ス
石門ヲ過ルコト半露里ニ及ベバ道路ハ隘道ト為
リテ歩行ニ便ナラズ唯駄荷ヲ運輸スルヲ得ル
ノミ隘道ヲ経過セントスルニハ其内石塊多キ
ヲ以テ歩行セサルヲ得サルナリ隘道ニハ「ポ
ウンク」一種灌木ノ生長スルアリ隘道ノ出口ニハ
石塊疊積シテ道路ヲ塡塞シ唯其中央ヲ歩スル
ヲ得ル[illegible]狭所ヲ去レハ石造ノ警衛所アリ数
人ノ番兵之ヲ守ル以上ノ石塊ヲ疊積セシハ商
隊ヲシテ唯其中央ノミヲ通行セシメ且ツ之ニ

頼テ以テ隘道ノ防禦ニ備ヘシモノナリ又其側
面ニ居テ敵兵ノ来ルヲ防禦スレハ敵兵容易ニ
側面ノ[illegible]昇[illegible]ヲ得ベカラザレバ十数ノ敵
ヲ防禦スルニハ充分ナルモノナラン
隘道ハ二人ノ番兵ヲ以テ之ヲ警衛セリ其番兵
ハ「コーレマ」名布ノ二坐シ銃ヲ膝上ニ置テ我輩通
行ヲ見タリ
警衛所ヲ経過スレハ道路ハ四露里半ノ間緩坂
ニ因テ小渓ニ通ス之ヲ降レハ「クスイル、スー」ノ
谷地ニ入ル此小渓ハ赤色粘土ノ土層崩壊スル

所アリ其崩壊セシハ其間ヲ河流ノ注過セシニ因ルナリ然ルニ赤色粘土ノ崩壊スル所ハ層線頭出スルヲ以テ之ヲ探究スルニハ最モ便ナルモノトス然ルニ道路ハ駄路ト称シテ恥ヂサルモノナリ然レ圧之ヲ車道ト為スニハ非常ノ費用ヲ要ス「クズイル、スー」ノ谷地ヲ出ルニハ二條ノ降坂アリ稍々嶮岨ナルモノニシテ荷車及ヒ大砲ヲ輸送[illegible]ル[illegible]カル可カラス前路ニ於テハ唯山頂ニノミ「アルテヤ」ノ生長スルヲ見シト雖圧進ムニ従テ小渓間ニモ亦生長スルヲ見ル總

参謀本部

テ然地ニ於テハ「アルテヤ」樹少ナシトセス前面ヲ望メバ明カニ「ツンググルシ」山ノ岩石上ニ廣場[illegible]観[illegible]其廣場内ニ針葉樹ノ繁茂スルアリ我輩同行人ノ言フ所ニ因レハ杉樹ナリト云フ

「クズイル、スー」谷地ハ其幅三百「サージエン」アリ平坦ニシテ円石之ニ充塞ス是ヨリ前キ「クズイル、スー」河ニハ「ヌーラ」河「コク、スー」河及ヒ其内地ノ河流注入スルアリ我輩ノ通過セシ時ハ已ニ十月ナルニ其水尚ホ甚タ多シ該河ノ浅瀬ハ水

参謀本部

量深カラズシテ一「ブーレト」半ニ及ブノミ前岸ノ廣場ニハ「イルケシタム」ノ戍所アリ之ヲ去ル百歩ニシテ「サーノリヤ」アリ商人及ヒ旅客ヲ入ルヽノ所ナリ

「イルケシタム」ノ戍所ハ粘土ヲ以テ其壁ヲ作リ其形状ハ方面ニシテ各方面二十五「サージエン」アリ其内ニハ兵營アリ五十人ノ兵卒ヲ入ルヽヲ得ベシ其他個数ノ教會及ヒ厩アリ此戍所ハ千八百七十五年ノ建築ニ係ル此戍所ノ壁ヲ破壊セント欲スレハ砲撃スル丁数個ニシテ足レリ守衛兵ハ噶什噶尓兵中騎兵二十乃至二十五名ニシテ過半ハ火索銃ヲ携フルモノナリ此戍所ヲ攻取セントスルニハ砲兵ヲ要セス歩兵半小隊及ヒ丸木数本ヲ用ユルモノハ則チ餘リアリ其丸木ハ戍所ノ門ヲ摧カンガ為メニ用ユルナリ

以上ノ道路ヲ車道ト為サンニハ「ガラリン、シーリ」ノ後ニ在ル嶮道ヲ除キ又「クズイル、スー」谷地ニ在ル嶮道ニ至ル小渓ヲ除ケバ啻ニ其労ヲ費スノミナラス費用モ亦タ多カラザルナリ此道路

ノ防禦ハ二所アリ則テ一ハ「イケ、イじやーク」ノ
峠ニシテ一ハ覆道ノ出口是ナリ然リト雖𪜈若
シ之ヲ攻取セント欲セバ少数ノ歩兵ヲ遣ハシ
他路ヨリ之ヲ攻メハ極メテ易キ事ナリ
覆道内ノ道路ハ至テ破損シ易シ薪材ハ後半路
ニ於テハ「レポウニク」及ヒ「アルチヤ」ノミニシテ
其数モ亦タ至テ少シ軍兵ヲ「イルケシター」山ニ
動カスノ際其用ユル所ノ薪材ハ「タレバガルン」
列峯ヨリ求ムルヲ得ベシ青草ノ秣料トナル可
キモノハ我輩ノ旅行セシ際ハ不足セリ家畜ハ
冬篭所ノ近傍ニ於テ之ヲ見セリシト雖𪜈道案
内者ノ言フ所ニ因レバ平和ノ際ハ「キルギス」人
ヨリ買ヒ求ムル事ヲ得ベシト云フ
十月十七日経過セシ道路ハ則テ「イルケシタム」山
ノ戍所ヨリ「エギン」戍所ニ至ルノ道ニシテ其里
程十七露里アリ
「イルケシタム」ノ戍所ヨリ「エギン」戍所ニ至ルノ
路中最初七八露里ハ北方ニ向テ行クモノニシ
テ其内二露里ハ「クズイル、スー」河ノ右岸ニ在リ
其東方ニハ「ザールイ、ブラーク」山アリテ樹木之

参謀本部

ニ繁生ス
我輩ノ道案者ノ言フ所ヲ聞クニ「ザールイ、ブラーヒ」山ニハ多クノ冬竈所アリト土地ハ漸ク石塊アリテ牧畜所ノ各地ニ散布スルアルヲ見ル尚ホ進行スレバ道路ハ「グイズイル、ズー」ノ谷地ニ入リ「ザールイブーラヒ」ノ小溪ニ沿フ「グイズイル、スー」河ノ浅瀬ヲ渡リテ後ハ谷地ノ右岸ニ沿ヒ凡ソ二露里ノ間ハ岩壁ノ下ニ通ス其岩壁ハ結成石ヨリ組織スルモノナリ坎所ニ於テ「グイズイル、スー」谷地ハ石多クシテ丘陵アリ其丘陵上ニハ「ジポウニク」「ヲブルペーク」「タール」等ノ植物生長ス更ニ進行スレバ道路ハ西方ニ轉シ「コヒ、イウーグ」河ノ河暖ニ沿フ「コシ、イツークヒ」ト云ル詞ハ則チ一雙ノ靴ト言フノ義ナリ其岸畔ニハ樹木ノ能ク生長スルモノナリ其後道路ハ北ニ轉シ「チヤルヅイ」凹路ヲ分裁シテ「ドカイ、バシ」小溪ニ入ル坎中溪ヲ為ス山ハ種々ノ粘土ト石灰石ヨリ組織シ植物ハ尤トレシテ之レアルヲ見ス道路ハ坎中溪ヨリ「カーラビリ」ト名ル高地ニ出ツ「カーラ、ビリ」トハ四高地ト言フノ義ナリ

此地ハ旅泊ヲ距ル六露里ノ所ニ在リ
是ヨリ進行スルコト七露里ニシテ道路ハ「カーラビリ」高地中ニ於テ北東ノ方位ニ向フ初メハ其幅大ニ廣張セル砂地トナリ「ターラ、ビリ」山ノ一分支ヲ越ヘ次ニ又他ノ一支ヲ越ヘ遂ニ「カーラビーク」山ノ嶮峻ナルモノヲ越ヘテ「イツイク」谷地ニ達ス「イツイク」トハ膏汁多キ草ト言フノ義ナリ「カーラ、ビーリ」ノ空濶タルコト我輩ノ通過セシ道路中未タ嘗テ見サル所ナリ実ニ「カーラ、ビーリ」ハ高度九千「フート」ノ高地ニシテ植物ハ一ツモ生スルコトナク岩石突出シテ險阻ヲ極ハメリ「タイズイル、スー」谷地ハ風水ノ流動常ニ絶ヘサルヲ以テ嶮峻ナル廣場ヲ作為ス其廣場ハ則チ砂ノ充塞スル所ニシテ植物ノ生長セザル所ナリ

道路ハ廣幅ナル「イツイグ」ノ小溪ニ入リ東方ニ向テ「エギン」ノ戌所ニ至ル「カーラビリ」ニ相ニ對スル小溪ニ於テハ「テー」ト名ル草大ニ繁茂シ春時家畜ヲ養フ為メニ最良ノ秣料トナル秋ハ此植物大ニ生長スルヲ以テ人民ハ之ヲ以テ天

草ヲ作ルノ具トナス小溪ヲ過クルニ露里半ニシテ道路ハ「エギン」ノ谷地ニ入ル盖シ「エギン」ノ谷地ハ「カーラ、ビリ」ト其地形ヲ異ニスルヿ「イツツイク」ノ谷地ヨリ甚シトス「エギン」河ノ浅瀬ヲ渡リ其右岸ヲ進行スルヿ数百「サージエニ」ニシテ「エギーン」ノ戍所ニ到ル「エギーン」トハ則チ道路ノ會合ト言フノ義ナリ

「エギーン」戍所ハ方形ノ粘土壁ヲ築キ其一方面ハ十五「サーシエニ」アリ戍所内ニハ「サークリキ」一戸ヲ搆フ門前ハ十人ノ番兵火索銃ヲ以テ警衛ス

「エギーン」ハ谷所ノ冬篭所ニ通スルノ五道相ヒ合スルノ所ナリ道路ハ戍所ヲ過グレバ「エギン」ノ河岸ニ在リテ一小溪ヲ分截スル所ハ少シク修繕ヲ加ヘザル可カラス其後右岸ヲ進行シテ一草原ニ旅泊シ求メリ其草原ニハ白楊樹「タール」等善ク生長セリ

道路ノ修繕ニ付我輩ノ注意セシ所ハ乃チ下ノ如シ第一「サールイ、ブラク」ノ降坂ハ修繕ヲ加ヘズレハ車道ト為スヲ得ヘシ第二「クズイルス」

谷地ニ入ル降坂ハ大砲ヲ輸送スル為メニ車紐ナカル可カラス第三「コーレ、イルーグ」ノ昇坂モ亦タ然リトス然レトモ之ヲ「クスイル、ス」ノ降坂ニ比スレハ其嶮稍々減ス第四「トカイ、パーレ」小溪ハ少シク修繕ヲ加フレハ車道ト為スヲ得ヘシ第五「トカイ、バーレ」ヨリ距ル七露里ニシテ「カーラ、ビリ」ニ沿ヒシ善路アリ修繕ヲ加ヘズシテ車道ト為スヲ得ル第五「カーラピリ」ノ降坂ハ最モ困苦ナルモノニシテ道路ニハ或ハ石灰石ヨリ成リシ巖石ノ突出スルアリ或ハ石塊ノ散布ス

ル所アリ而シテ其石炭石及ヒ巖石ハ至テ破壞シ易キモノナリ駄馬ノ是路ヲ通スルモノハ騎行スル能ハス辛苦シテ單行セサルヲ得ス
以上ノ道路間ニハ敵ノ為メニ防禦スヘキ重要ナルノ地アラス總テ其道路ハ破損シ易キモノニシテ殊ニ「カーラピリ」ノ緩坂ヲ以テ甚シトナス薪水ハ「トクバレ」及ヒ「カーラビリ」ノ二小溪ニ於テハ甚窮乏ス「エギル」及ヒ「イツヽイク」ノ谷地ニ於テハ青草甚多ク殊ニ薪材ハ饒足セリ実ニ其薪材ノ多キハ大軍ノ数日滯在スルヿアルモ

参謀本部

決シテ不足スルヿナカルヘシ
十月十八日経過セシ道路ハ則チ「エギン」ヨリ「ウ
ルグチャート」ノ要塞ニ趣クモノニシテ其里程十
八露里ナリ
旅泊所ヲ発セシヨリ道路ハ「エギーン」河ノ右岸
ニ在リ「エギーン」ノ右岸ニ次グノ道路ハ廣濶ナ
ル廣場ニシテ石塊ノ充塞スル所ニ在リ該河ノ
左岸ニハ高嶺直立スルヲ以テ道路ハ屈曲シ且
ツ小渓ヲ分截スルヲ以テ之ヲ車道ト為サンニ
ハ多クノ修繕ヲ要スルモノナリ

是ヨリ進行スレハ道路ハ廣濶ナル「エギン」ノ谷
地ニ入リ南東ノ方位ニ趣キ以テ「エギン」河ノ「ク
スイル、スー」河ニ注入スル所ニ到ル「エギーン」ノ
谷地ニハ白楊樹「タール」「ジブレビート」及ヒ「ポ
ウニク」等ノ生長スル樹林アリ白楊樹ハ其直径
十「ヴエルシカ」アリテ建築材ニ供スベシ「ヲブレ
ピーフ」ハ其高サ一「サージエ」ニ半アリ
旅泊ヲ距ル七露里ノ所ニ於テ「エギン」河ハ「クズ
イル、スー」河ニ注入ス盖シ当所ニ於テハ「クズイ
ルスー」河ヲ名ケテ「ヤス、キーチユ」ト云フ尚ホ進

行スレバ「ヤス、キーチユ」ニ沿フノ道路ハ北東ノ方位ニ向ヒ十一露里ヲ過ギテ「ヴルグチヤー」トノ要塞ニ達ス「エギン」河ノ「グズイル、スー」河ニ注入スル所ノ近傍ニ於テ「グズイル、スー」河ノ左岸ニハ「ナグラー、チヤルヴイ」ト名ツクル戍所アリ其壁ハ方形ニシテ砲台ヲ備フ又戍所ヲ繞囲スルノ壁アリ其高サ二「ブー」ナリ戍所内ニ一屋ヲ構ヘ干草ヲ貯蓄ス戍所ノ門ニハ二十五人ノ番兵アリテ小銃ヲ有ス其内火索銃ヲ以テ最モ多シトス又「グズイル、スー」河ノ左岸ニハ「ナグラーチヤルヴイ」ノ戍所ニ對シテ道立セル山ノ麓ニ「ザークリヤ」アリ土壁ヲ以テ繞囲シ之ニ砲臺ヲ備フ蓋「ザークリヤ」ノ近傍ニ於テ我輩ハ二三ノ家族アルヲ見タリ其人数ハ婦人二名童子数人兵卒五六人ナリ「ナグラーチヤルヴイ」戍所ヲ攻畧スルニハ数門ノ大砲ヲ發放スレバ則チ足ルモノナリ

「グイズイル、スー」ノ谷地ハ「エギーン」河ト合スル所ニ於テ其幅二百五十「サーゼン」アリト雖モ尚ホ進行スレバ廣張シテ一露里ト為ル運テ「イ

ズイルズ」谷地ハ樹木甚タ多クシテ処々欝茂スル有リト雖トモ「ウルグチヤー」ノ要塞ニ近接スルニ従テ樹木ト自ラ減少ス

「ナグラー、チヤルヴイ」ヨリ三露里ノ所ニ於テ道路ハ浅瀬ヲ渡テ右岸ニ転シ地勢漸次ニ高起スル一二露里ノ間ニ跨ル坎所ニ於テ路上ノ結成石碌々タルヲ以ツテ通路ヲ困難ナラシム其道路ハ嶮岨ナル谷地ヲ過キテ「ウルグチヤー」ニ達ス

「ウルグチヤー」ノ要塞ハ山ノ間ニ在リテ卑低ナルニ依リ砲兵山上ヨリ凹処ニ降スニハ最モ便利ナルモノナリ我輩ハ其凹所ヲ過キテ坎地ニ来レリ「ウルグチヤー」ノ要塞ハ我輩ノ已ニ経過セシ道路ニ在リシ戍所中最モ大ナルモノニシテ道案者ノ言ニ因レバ該要塞ニハ四百乃至五百人ノ兵卒ヲ屯シ各々家族ヲ携ヘリト然トモ其言ハ蓋シ其実ヲ失スルモノナルベシ我輩ハ要塞ノ門側ニ於テ火索銃ヲ携ヘシ六十人ノ兵卒ニ會ス而テ要塞ノ壁ハ唯小銃ノ弾丸ヲ防グヲ得ベキノミ守衛兵ハ其実一百乃至百五十

人ナルベシ渾テ其間ノ道路ヲ車道トナサンニハ多クノ労力ヲ要セザルナリ

道路中防禦ニ適スルノ土地ハ一ツモ之アルナシ「ナグラ、チヤルヅイ」ノ戍所ト言ヒ「ウルグチヤート」ノ要塞ト称スルモ皆砲兵ヲ以テ攻撃スレバ容易ニ略取スルヲ得ベシ実ニ「イルケシタム」「エギン」及ヒ「ナグラ、チヤルヅイ」ノ戍処ト「ウルグチヤート」ノ要塞ノ如キハ露國軍兵ノ進行ヲ聞カバ其守衛ハ皆戦ワズシテ脱走スルモノナリ

馬ヲ野ニ放牧スルヿハ「ウルグチヤート」ノ近傍ニ於テ成ス能ワザルモノナリ其全道路間ニ於テ薪水ハ欠乏セス水ハ至ル処アラザルナク且ツ其質モ亦良ナリ

十月二十日ニ経過セシ道路ハ「ウルグチヤート」ノ要塞ヨリ「ヲクサルイク」ノ戍所ニ達スルモノニシテ其里程四十露里アリ

「ウルグチヤート」ヲ出ツレバ道路ハ「カイズイルスー」河ノ谷地ニ通シテ河ノ右岸ニ在リ其ニ「コリユーチカ」ノ繁茂スルアリ「ウルグチヤート」ヲ

去ル三露里ノ所ニ於テ数百「サーゼ」ノ間蘆葦ノ生長スルヲ見ル其所ヲ経過スレハ「クリユーチカ」ト「チーイ」草ト雑生ス道案内ノ言フ処ニ因レバ此所ニ於テ牧畜場アリテ「キルギス」人安ニ家畜ヲ牧スト云フ尚ホ進行スレバ白楊樹及ヒ「タール」ノ樹林アルヲ見ル「クイズイル、スー」ノ河岸ハ嶮岨ナルヲ覚ユ旅泊ヲ去ル四露里ノ処ニ於テ道路ハ左岸ニ轉ス右岸ヨリ左岸ニ轉ズル浅瀬ハ其水深クシテ馬鞍ニ達スル処アリ故浅瀬マデノ地ヲ名ケテ「サールイ、カムイシ」ト云フ

尚ホ進行スレバ「タリニク」ノ生長スル所アリ其内多クノ雉アルヲ見タリ

旅泊ヲ距ル六露里ノ所ニ於テ道路ハ谷地ノ右岸ニ在リ春夏二季ハ河上ノ線路ヲ通行セラレシト雖氏現今ハ破損セリ秋季ハ河岸ノ凹所ヲ行スルヲ得ル尚ホ進行スレハ線路ハ河中ニ入リ旅人ノ通行ス可カラザル一門ニ至テ止ル

此門ヲ過グレバ警衛所アリ二人ノ番兵之ヲ守ル警衛所ノ近傍ニ於テ石塩アリ「ウルグチヤー

上ノ兵卒ハ自ラ之ヲ採テ其需要ニ供ス案內者ノ言フ所ニ依レバ石塩ヲ採取スルヿハ各人ノ欲スル所タリト更ニ進行スレバ道路ハ河流ノ屈曲セル所ニ沿フテ東方ヨリ南方ニ向ヒ或ハ結成石ノ突出スル高岸ヲ過キ或ハ河岸ノ凹地ニ通ス狹所通行至テ難ク唯駄荷ヲ運輸スルヲ得ルノミ河幅ハ廣濶流勢ハ緩靜ニシテ淺瀨アルヲ見ス而テ其谷地ニハ樹林繁茂セリ

旅泊所ヲ距ル九露里ノ所ニ於テ最モ困難ナル道路アリ其長サ凡ソ一露里ニシテ結成石路上ニ横ハルニ因リ線杖ヲ以テ通行ヲ便ニス狹線杖路ハ春時水漲ルトキハ忽チニシテ破壞ス是ヨリ進行スレバ道幅大ニ廣張スルヿ凡ソ二露里ニ及ブ

旅泊所ヲ去ル十二露里ノ所ニ於テ道路ハ東ニ轉シ廣濶ナル「ツガラーク、サーズ、サイ」ノ小溪ニ入ル其小溪ヲ行クヿ十露里ニシテ「シユール、ブラク」峠ニ達ス「クズイル、スー」河ハ道路ノ轉回セシ所ヨリシテ南東ノ方位ニ向テ流過ス道案內ノ言フ所ニ因レバ該河ノ谷地ニ小路アリ「ウパ、

ール」府ニ達スルヲ得ル
「ツガラーク、サズサイ」トハ沼沢多キ土地ト言フ
ノ義ニシテ其廣サ百「サーゼニ」アリ空気乾燥シ
テ植物稀疎ナリ唯稀ニ「ゴリユーチカ」ノ生長ス
ルノミ其内多クノ凹道アリテ春水及ヒ雨水ハ
之ニ入テ流ル、「ツガラク、サーズサイ」ノ小谷ヲ
為スノ山ハ粘土ヨリ組織スルモノニシテ進ム
ニ従ヒ其高度漸次ニ減少ス蓋シ其高度ノ減少
スルハ小谷ノ底ニ関係スルモノナリ小谷ノ底
ハ漸ク高起シテ「シユール、プラーク」ノ峠ニ上ル

其最後ノ昇坂ハ廣大ナル線杈路アリ峠ノ高度
ハ凡ソ九千「フート」アリ峠ノ南方ニハ「ブス、タグ」
ノ山巓アリ道案内ノ言フ所ニ因レバ其山巓ハ
噶什喀尔府ニ向フモノニシテ其後部ニハ之ヨ
リ高キ山巓アリテ千古積雪ヲ戴ケリ之ヲ名ツ
ケテ「ムス、タグ」巓ト曰フ「ヤルケンド」府ニ走ルモ
ノナリ
峠ノ降坂ハ「シユルブラーク」ノ小溪ニ通シ「シユ
ルブラーク」河岸ニ沿フ「シユル、ブーク」トハ苦鹹
ノ水ト言フノ義ナリ至テ嶮岨ニシテ其地形ハ

昇坂ト異ナル了ナキナリ「シユルブラーク」河ハ其源ヨリ六露里アリ峠ヨリ十露里ノ所ニ於テ道路ハ「マシループ」ノ要塞ニ近接シ其要塞ヲ距ル六十歩ノ一門ニ通ス是レ乃テ「マシループ」要塞ノ防禦所ニシテ其門側ニハ土塁アリ故要塞ノ外観ハ堅固ナルカ如シト雖氏其実之ヲ攻取スルハ甚タ易シトス

「マシループ」ノ要塞ハ土壁ヲ以テ繞囲スト雖氏大砲ヲ以テ之ヲ破壊スレハ何ノ難キ了カ之アランヤ要塞周囲ノ地形ヲ観ルニ其砲射ヲ畏レズシテ二百「サーゼ」ノ近傍ニ進ムヲ得ヘシ「マシループ」ノ守衛ハ歩兵二十人乃至三十人砲兵三十人乃至五十人小鷹砲十五乃至二十門ヲ備フ小鷹砲ハ要塞ノ砲台ニ備ヘテ道路ニ向ハシム守衛ヲ管轄スルモノハ五十夫ノ長「ピヤンジハシ」及ヒ百夫ノ長「ユズバシ」ニシテ「ユズバシ」ハ「ラクサルイル」ヲ司治スルモノナリ「マシループ」要塞ノ門ヲ過キシ後道路ハ「ラクサルイル」河ノ谷地ニ入リ狭隘ノ覆道トナリ其覆道ノ両端ハ最モ嶮岨ナルモノナリ

降坂ハ道長クシテ且ツ嶮峻ナリ故ニ大砲ハ人カヲ以テ輸送セサル可カラス上地ハ粘土ヨリ成ルヲ以テ少シク降雨アルキハ直ニ濘滑ノ地トナル駄馬ハ列ヲ駢ブ能ハズ「マシループ」ノ要塞ヲ築造セル山ハ「ヲクサルイル」河ノ右岸ニ在リ而テ左岸ニハ廣濶ナル平場數所アリ其内河岸ニ接近スルモノハ僅ニ水面ヨリ出ルノミ「ヲクサルイル」河ノ谷地ハ其幅百「サーゼン」アリテ「ターリ」樹繁茂ス「マシループ」ト「ヲクサルイル」ノ間ハ五露里ナリ道路ハ「ヲクサルイル」河ノ谷地ニ通シ「ヲクサルイル」ノ要塞ヲ距ル二露里ノ所ニ於テ右岸ノ平場ニ轉シ以テ「ヲクサルイル」要塞ニ達ス此昇坂ハ隴上ニ在リテ甚タ嶮峻ナリ「ヲクサルイル」河ノ谷地ハ要塞ノ近傍ニ至テ沼澤多キ土地トナル要塞ハ谷地ノ中央「ヲクサルイル」河ノ左岸ニ位ス此要塞ハ容易ニ通過スルヲ得ルモノナリ

以上我輩ノ經過セル道路ノ外聞ク処ニ因レバ「ヲクサルイル」ヨリ「ウルクチヤート」ヲ過キ「エギシ」ニ行クノ道「アライ」ニ行クノ道「ウズケント」ニ

至ルノ道アリテ其道ハ困難ナルノ駄路ナリト言フ我輩ノ経過セシ道路ハ「ウルグチヤート」ヲ距ル四露里ノ間ハ車行ス可カラサルモノナリ之ヲ修繕シテ車道ト為スニハ道幅ヲ廣メザル可カラス蓋シ非常ノ金額ヲ要スベシ

「ウルグケヤート」ヲ距ル八露里ヨリ十一露里ノ間モ亦タ其道幅ヲ廣ムルニハ巨大ノ費用ヲ要スルモノトス

「ツガラソサース、サイ」小谷ト「レユル、ブラートサイ」小谷トノ間ニ通スルノ道路ハ之ニ修繕ヲ加ヘテ車道ト為サンハ多クノ費用ヲ要セザルナリ其修繕ハ主トシテ路上ノ石塊ヲ掃除スルニ在レバ人力ヲ以テ為シ得ヘキモノナリ但シ「ヤレループ」要塞ト「ヲクサルイク」谷地トノ間ハ稍々嶮難ナレバ火薬ヲ用ヒザル可ラス

薪材及ヒ築造材ハ「クイズイル、スー」及ビ「ヲクサルイル」ノ二谷地ニ於テハ饒足セリト謂フベシ然レモ其他ノ所ニ於テハ唯「クリユーチカ」アルノミ

敵ノ我ヲ防禦セントスルノ要地ハ「レユール

ブラク」ノ峠及ヒマシルーブ」ノ要塞アルノミ然
レ𪜈「シユールブラク」ハ一ハ正面ヨリ侵撃シ一
部ハ後面ニ廻テ之ヲ攻撃セバ容易ニ攻取スル
ヲ得ベシ又「マシルーブ」ハ一ハ砲兵ヲ以テ進撃
シ一ハ其後部ニ出テヽ之ヲ攻メハ是亦タ畧取
スルニ何ノ難キヿカ之アランヤ若シ敵兵ニシ
テ「マシルーブ」ノ要塞ヲ防衞セズンバ実ニ容易
ニ「ヲクサルイル」ノ谷地ニ入ルヲ得ヘシ
秋季ノ野草ハ多カラズト雖𪜈少数ノ馬ニ供ス
ルニ足ル水ノ良質ナルハ「クズイルスー」ノ河水「ヲ
クサルイル」ノ河水ノミ「シユールブラク」河ノ水
ハ既ニ述ベシ如ク苦鹹ヲ含ムモノナリ
十月二十一日経過セシ道路ハ「ヲクサルイル」戍
所ヨリ「カルガシンカーニ」ノ旅泊所ニ到ルモノ
ニシテ其里程二十七露里アリ盖シ「クルガシン
カーニ」トハ鉛鑛ト言フノ義ナリ
「ヲクサルイル」ノ戍所ヲ出テシヨリ最初三露里
ノ道路ハ「ヲクサルイル」ノ谷地ニシテ樹木ノ善
ク生長スル所ナリ道路ノ左端則チ北方ハ小嶺
騈立シ其内我輩ハ「キルギズ」人ノ冬竈処数戸ア

参謀本部

ルヲ見タリ要塞ヨリ三露里ノ所ニ於テ谷地ハ幅ハ大ニ廣張ス此所ヲ名ケテ「モラール、ツルガイ」トヨフ「モラール、ツルガイ」ニモ亦タ多クノ冬籠所アリ尚ホ進行スレバ道路ハ北方ニ回旋シ廣濶ナル「コレユークイ」ノ谷地トナル「コレユークイ」トハ鳥ノ旅泊ト言フノ義ナリ

「クズイル、スー」谷地ニ沿フテ直ニ「ウバール」府ニ趣クノ駄路アリ聞ク所ニ因レハ「ウパール」府ハ「ラグサルイル」ヲ距ル十六歩ノ所ニ在リ「[illegible]ークイ」ノ谷地ハ漸次ニ縮迫シテ百「サージエニ」

参謀本部

ニ及ブ此谷地ヲ繞囲スルノ山ハ赤色粘土ヨリ成リテ道路ハ東方ニ当ル「エルキト、ヤ[illegible]リヤウ」一名「エルキ、ユルツイ」ト名クル谷地ニハ「ターリ」樹繁茂ス「コレ、ユークイ」ノ谷地ハ其屈折スル所ヲ距ル三露里ヨリ大ニ廣張シ北面ノ方位ニ向テ道路ト隔離ス其間十露里ハ良美ノ牧場トナスベシ其谷地ノ頭ニ於テ「コレ、ユークイ」ノ諸流其水源ヲ發ス其諸河ハ既ニ記セシ如ク道路ノ屈曲セル所ニ於テ「クズイル、スイ」河ニ注入スルモノナリ「コレ、ユークイ」谷地ニハ多クノ冬籠所

参謀本部

アリテ干草ヲ蓄ヘリ道路ハ小丘ヲ過ギ「ラタサルイル」ヲ距ル九露里ノ所ニ於テ東方ニ轉シ復道ノ内ニ入ル其復道ヲ名ケテ「モログチヤート」ト曰フ「ラクサルイル」ヨリ此復道ニ入ルノ道路ハ車道ノ内ニ州レテ可ナルモノナリ覆道ノ廣サハ六歩ヨリ十五歩ニ至ル其両端ハ粘土ヨリ組織スル高壁ニシテ其高サ数百「フート」アリ覆内数所ニ於テ両端ノ土壁相ヒ連リテ道路ヲ掩蔽スルモノアリ又二ケ所ノ坂路アリ其上所ハ歩行ニ不便ナルヲ以テ覆道ヲ出テヽ其一端ノ土壁上ヲ行カザル可カラズ此道ハ至テ破損シ易ク其長サハ二露里ナリ覆道内ノ道路[illegible]車道ト為スニハ巨多ノ費用ヲ要スベシ此覆道ニ拠テ防禦スルハ極メテ便ナリト雖モ之ヲ破ルモ亦タ極メテ易シトス

覆道ヲ過グレバ道路ハ或ハ狭隘ナル小溪ニ因リ或ハ線坂路ニ因リ以テ「クルーク」山ニ上リ該山ヲ越ヘテ空漠タル小溪「クルーク、サイ」ニ入ル蓋シ「クルークサイ」トハ乾燥ノ小溪ト言フノ義ナリ小溪ヲ過グレハ道路ハ「プリチヤニヤートク」

左右ヨリ組織スル渟滑ノ小陵トナル此地ヲ名
ノ名
ケテ「タイガク、タシ」ト曰フ
此地ヲ過クレハ道路ハ再ヒ峠トナル然レトモ之
ヲ前ノ峠ニ比スレハ山勢稍々緩ナルモノナリ
此峠ヲ経テ「クーチヤ、ブラク」ノ小溪ニ入ル「クー
チヤブラク」トハ市街ト言フノ義ナリ此小溪ハ
至テ狭隘ニシテ岈ニ依リ覆道ヲ成スモノアリ
小溪ヲ繞囲スル山ハ一種特別ノ形体ヲ現ハシ
或ハ巨屋ノ如キモノアリ或ハ碗臺ノ如キモノ
アリ又或ハ土壁ノ如キモノアリ小溪ニ沿フテ

「クーチヤブラーク」ノ小流アリ其左岸ノ一流「ヲ
イ、ブラーク」河ト連合シ総称シテ「キ[illegible]ハ、レユ
ールブラク」ト曰フ此流ノ水ハ苦鹹ヲ含ムモノ
ナリ
「ラクサルイル」ヲ距ル十七露里ノ処ニ於テ道路
ハ嘗テ「コレ、ユークイ」ヨリ望観セシ「エルキーヤ
イリヤイ」山ニ依リ北轉シテ数百露里ノ間ハ覆
道内ヲ通ス其覆道ハ平坦ノ石路ニシテ恰モ人
工ニ出テシモノヽ如シ「キチーク、レユール、ブラ
ク」河ハ此覆道内ヲ流レテ其右方ニ在リ道路ハ

總テ河岸ニ沿ヒ狹隘ニシテ屈曲セル「ブール」覆道ニ達ス「ブール」トハ石灰ト言フノ義ナリ此覆道ヲ修繕シテ車道ト為サント欲セハ火薬ノ力ヲ借ラザル可カラス故ニ多クノ費用ヲ要スルモノナリ

道路ハ覆道ヲ過キテ「カク、シユール、ブラーク」ノ谷地ニ入リ「カタ、シユール、ブラーク」河岸ニ沿ヒ行クヿ凡ソ一露里ニシテ河岸ヲ去リ或ハ線杈路トナリ或ハ小丘ニ因テ通シ遂ニ「クルガレン、カーニ」山ニ達ス但シ小丘上ノ路ハ騎者其列ヲ并ラフ可カラス是レヨリ「クルブレン、カーニ」山ノ峻岨ナル昇坂ヲ上リ尽シ之ヨリ十層峻峻ナル降坂ヲ下テ「クルガレン、カーニ」河ノ谷地ニ出ツ「クルガレン、カーニ」ト鉛鑛ト言フノ義ナリ「クルガレン、カーニ」河ノ左岸ニハ旅宿所アリ我輩ハ之ニ就テ宿泊セリ

道路ヲ修繕シテ車道ト為サント欲セハ前ニ述ベシ三所ノ覆道ヲ修繕セサル可カラス是其修繕ハ巨額ノ費用ヲ要セサル可カラス但シ此覆道ハ皆天賦ノ防禦所タルモノナリ

道路中薪材ハ不足ナリシト雖モ旅泊所ニ於テハ「クルカシン、カーニ」ヲ距ル數露里ノ所ニ於テ石炭ヲ堀採スルヲ得ベキナリ

原野ノ草ハ多カラスシテ馬ヲ放飼スルニ足ラズ水ハ全路中皆苦鹹ヲ含ミ唯旅泊所ニ於テ良質ノ水ヲ得ベキノミ道案内ノ言フ所ニ因レハ二所ニ於テ鉛ヲ堀採ス是皆「クルガシン、カーニ」ヲ距ル半露里ノ所ニ在リ此鑛山ハ官有物ニシテ鑛夫三十人アリ鑛夫ハ三十「フーレ」ノ鉛ヲ堀採スル毎ハ一「ルーブリ」ノ債銭ヲ得ル

鉛ハ「クルガシン、カーニ」ノ鑛山ノ外噶什喀尔府ノ近傍并ニ「アクスー」府「ウチツルハル」府ニ於テモ亦堀採セリ

「クルガシンカーニ」ニハ鉛鑛ヲ堀採スル為ニ「バイ」府「サイラム」府「クーチヤ」府「ウルムチ」府ヨリ七戸ヲ移住セシム其中支那人二名アリ

各戸ニハ穀粒十「チヤリク」及ヒ衣服ヲ賜フ移住人ハ旅人ノ為メニ雇役セラルヽノ責アリ然モ其債銭ヲ受ケリ移住者ノ長ハ捕虜セラレシ者ノ一人ナリ

十月二十二日経過セシ道路ハ「クルガシン、カーニ」旅泊所ヨリ「カンヅジユガン」成所ニ到ルモノニシテ其里程ハ二十二露里アリ

「カルガシン、カーニ」ノ旅泊所ヨリ道路ハ右岸ニ沿ヒ平原ヲ行ク凡ソ一露里ニシテ「クルガシンカーニ」山ニ上ルノ坂路トナル上リ坂ハ嶮岨ニシテ石塊多ク且ツ狭少ナルニ依リ之ヲ修繕セントト欲セハ費用ヲ要スルヿ多シ峠ヨリ降ルヿ少許ニシテ小谷ニ入ル其小谷ヲ過キテ凹所ニ入リ是ヨリ第二ノ峠ニ昇ル前キノ峠ニ比スレハ山勢稍々緩徐ナリ是峠ヲ名ケテ「クスイルダワン」ト曰フ之ヲ過クレハ廣大ナル窪地アリ其窪地ハ其部分ニ因テ種々ノ名称アリ則チ「バカー」「クイズイル、スイ」「カンジユガン」等是ナリ窪地ノ地部ニハ「クズグニ」山及ヒ「アルツイン」山ナアリ南部ニハ「クズイルヲイ」山及ヒ「カンシユガシ」山アリ西部ニハ「カルガシン、カーニ」アリ是我公使一行ノ来リシ道路ナリ東部ニハ「アルツイシ」山及ヒ「ウリユーク」山アリ窪地ノ廣サハ八露里ニシテ長サハ則チ二十露里ナリ晴雨計ヲ

以テ計ルニ其底面ハ海面ヲ去ルヿ七「フート」ナリ窪地及ヒ之ヲ繞囲スル山ニハ「キルギス」人ノ一種「チムバキレ」人ノ部落アリ聞ク所ニ因レハ其帳幕ノ数一千アリト

其窪地ニ降ルノ路ハ急峻ニシテ滓滑ノ地ナリ此降リ地ヲ過グレバ噶什喀尔府ニ至ルマテハ尽ク車道ナリ唯少シク修繕ヲ加ヘサル可ラサル所アルノミ

峠ヲ降レバ道路ハ天然境「ブラーク」ニ因テ「バカクラーク」河ノ流傍フ「バカ、クラーク」トハ蛙河ト言フノ義ナリ平原ヲ距ル七露里ニシテ「クイズイル、オイ」山ニ接近スレハ小谷ニ入リ此小谷ヲ過クレハ直ニ南ニ趣キ「クイズイルライ」山ヲ去テ平原ニ出ツ

「バカ、ブラーク」河ハ道路ノ其河岸ニ在リシモノ峠ヲ去ル五露里ノ所ニ於テ「クイズイル、オイ」ノ山中ヲ流過シテ「クイズイル、スイ」河ニ入ル道路ノ「バカブラーク」河ニ沿フ所ヲ名ケテ「バカ」ト曰フ其ヨリ窪地ヲ進行スレバ「クズイルライ」ト名クル所アリ即チ赤色ノ窪地ト言フノ義ナリ此

泊ヲ距ル十九露里ノ所ニ於テ道路ハ「クイバイル、ライ」山ニ近接シ其麓ヲ廻テ南東ノ方位ニ向ヒ「カンヅジャガン」河ヲ渡テ其左岸ニ沿ヒ「カンヅジャガン」ノ戍所ニ到ル「カンヅジャガン」河ハ其源ヲ「クーズ、グン、タウ」ニ發スルモノナリ

「カンヅジャガン」ノ戍所ハ方形ナレ𪜈方正ナラズ其壁ニハ砲臺ヲ備フ城壁ノ内ニハ建築数所アリ第二ノ壁ハ其高サ二「フート」アリテ第一ノ壁ヲ繞囲ス「カンヅジャガン」戍所ヲ築造セシハ今ヲ距ルヿ久シキヲ以テ我輩ノ已ニ経過セル

参謀本部

二戍所ニ比スレハ其中築造更ニ粗悪ナリトス蓋シ其二戍所ハ二三年前ニ築造セラレシモノナリ戍所ノ門前ニハ十五人ノ番兵火索銃ヲ以テ守衛セリ

「カンヅジャガレ」ト云ヘル詞ハ血ノ浸蝕ト言フノ義ナリ口碑ニ依レハ此地ハ蒙古人ト「チユルク」人ト爭闘セシ古戦場ナリト

道路ヲ修繕シテ車道ト為サント欲スルニ「クズイル、ダワン」ノ峠ハ最モ多クノ費用ヲ要スルモノナレ𪜈其地ハ修繕ヲ用ヒズシテ車道ノ内ニ

参謀本部

等入スルヲ得ルモノナリ「カンヅジヤガン」ノ戍所ニ於テ初メテ「ダリチヤ」ヨリ来レル荷車ヲ見タリ抑「カンヅジヤガン」ハ最良ノ防禦所ニシテ若シ此地ニ防禦所ヲ設ケズンバ峠ヨリ降ルノ坂路ハ容易ニ之ヲ破ルヲ得ヘシ

薪材ト成ス可キモノハ「チー」及ヒ其他ノ灌水ナレトモ其数極メテ多カラス野草ハ充分ナリト雖モ秋季ニ至レハ需用ニ供スルニ足ラス通例ノ旅行ヲ為スノ時ハ「キルキス」人ト穜チユンバギーレ」人ニ就テ充分ニ薪材秣料及ヒ家畜ヲ購求スルヲ得ベシ「バカブラーク」河「クーズ、グーン」河及ヒ「カンヅジヤガン」河ノ水ハ少シク塩分ヲ含ムモノナレトモ飲料ニ供スルヲ得ベシ

十月二十三日経過セシ道路ハ「カンヅジヤガン」ノ戍所ヨリ「ミン、ユル」戍所ニ到ルモノニシテ其里程三十露里ナリ

道路ハ「カンヅジヤガン」河岸ニ沿ヒ廣大ナル狭谷ニ入ル此狭谷ハ山嶺之ヲ夾ム其山ハ植物ヲ生セス而シテ狭谷ノ右端則チ南部ニ在ルモノヲ名ケテ「カンヅジユガン」ト曰ヒ狭谷ノ左端則チ

北部ニ在ルモノヲ「ウルタブラーク」ト曰フ狹谷ノ幅ハ二百五十「サージエニ」アリ其近傍ニハ「チー」及ヒ種々ノ灌木生長ス旅泊ヲ距ル七露里ノ所ニ於テ「ウルタ、ブラーク」ノ細流アリ「カンヅジャガン」河ニ注入ス尚ホ進行シテ旅泊ヲ距ル十二露里ノ所ニ至レハ道路ハ「カラワングーリ」ノ谷地ニ入ル「カラワングーリ」ノ谷地ハ其幅廣ク其長サ二露里アリ

道路ハ「カラワン、グーリ」ノ谷地中ニ連レテ「カラワン、グーリ」山麓ノ南端ニ在リ行クヿ二露里ニシテ「ウリユーク」河ヲ渡ル此所ニ於テ「カンヅジャガン」河ハ左岸ヨリ注入ス「ウリユーク」河ノ左岸ヲ行キ第二ノ窪地「ミン、ユルダ、トラ」ニ入ル「ウリユーク」河ノ浅瀬ハ其水稍々多シ該河ハ源ヲ「ウリユーク」山ニ發スルモノナリ道路ハ該河ニ沿フテ「アガーテ、テアート」ノ戍所ヲ過ギ「チヤクマク」ノ要塞ニ入ル聞ク所ニ因レハ此道ハ甚タ困難ナル所アリテ馬ハ口ニ革紐ヲ付ケテ引カザルヲ得ス

我輩ヲ誘道セシ一人ノ「ユズ、バシ」ハ我輩ニ告ケ

テ曰ク「アガーチェ、チャート」ノ守衛ハ其数二百人アリト然レモ其実ハ二百人ノ兵卒ナキナリ「ウリユーク」河ノ右岸ニハ已ニ破壊セル支那人ノ城「カラタルイム」アリ聞ク所ニ因レハ該城ニハ嘗テ五百人ノ守衛兵ヲ置キシモノナリト「ミン、ユルダル」ノ窪地ハ其長サ十五露里其廣サ九露里アリ道路ハ此中央ニ通シテ東ニ向テ進ム「ウリユーク」河ハ道路ヲ離レテ南東ノ方位ニ流ル其河岸ニ沿フテ「ウバトル」脊ニ行クノ道アリ又「ウリユーク」河岸ノ「カーブカ」ト名クル所ニ於テ「カーブカ」ノ戍所アリ守衛二十五人ヲ備フ是レ「ミンユル」ニ在ル中隊ヲ分遣セシモノナリ「ミンユル、ダラ」ノ窪地ヲ為ス山ハ南方ニ在ルモノヲ名ケテ「カーラ、ブイズ」ト曰ヒ北方ニ在ルモノヲ名ケテ「カーラ、ダウ」ト曰フ「カーラダウ」ノ頂上ニハ「テレーク、タシ」ト呼ベル洞窟アリ「ミン、ユル、ダラ」ノ地形ハ全ク平原ナレモ円細石ノ散布スルアルヲ以テ大ニ通行ヲ妨ケリ此地ニハ「イシカルト名クル灌木ノ生長スルアリ此灌木ハ秣料ニ用ユ可ラス又薪材ニ用ユ可ラス然レモ

人民ノ争テ之ヲ採ル所以ノモノハ此「イレカル」ヲ焼キ灰トナシ之ヲ喝什喀尓府ニ送クレハ二十「コヘーキ」ノ價ヲ得ルヲ以テナリ「イレカル」ノ灰ハ布打沙ノ惟質アルヲ以テ石鹹ノ内ニ混スルモノナリ

旅泊ヲ距ル十六露里ニシテ「ムールレカ」アリ「ムールレカ」ナルモノハ一種ノ家屋ニシテ降雨ノ時ハ数人其内ニ滞留スルヲ得ベキモノナリ「ムールレカ」ノ近傍ニ於テ道路ハ一ツノ小渠ヲ横截ス其小渠ハ「ウリユーク」河ヨリ「ミンユル」ノ成所ニ水ヲ引クモノナリ此渠ハ数年前ニ於テ開鑿ニ着手セシト雖モ其業未ダ終ラズシテ一時廃弃セシモノナリシガ千八百七十六年「ミンユル」城ノ「ユズバシ」「アフメタ」ナルモノ、尽力ニ依ニ遂ニ落成セシト云フ

尚ホ進行スレハ道路ハ数條ノ乾渠ヲ過ク其渠ノ西岸ハ甚急峻ナリ此地ノ道路ハ修繕ヲ要スルノ所甚少シ未タ「ミンユル」ニ至ラザル前一露里ノ間ニ於テ道路ハ「シリヤーブ」河ヲ経過ス「シリヤーブ」トハ春水ト云フノ義ニシテ該河ハ

「カラタウス」山ヨリ流出シ晩春ハ水量至テ多シト雖モ冬ハ大抵其水乾涸セリ

「レリヤーブ」河ノ左岸ヲ過キ戍所ノ門ニ入リ遂ニ「ミン、ユル」ノ戍所ニ到ル盖シ戍所ノ門側ニハ胸壁ヲ設ク然レモ現今ハ大ニ破損セリ此戍所ハ我輩ノ已ニ経過セル各地ノ戍所ト同シク方形ノ壁及ヒ防禦砲臺ヨリ成ルモノニシテ其各方面ハ三十五「サーゼ」ニアリ戍所ノ内ニハ数箇ノ家屋ヲ搆フ城壁ハ其幅甚タ厚シ戍所ノ風景ハ頗ル佳ニシテ園圃アリ牧場アリ以テ其美景ヲ添フ此園圃及ヒ牧場ハ渠道ヲ開通セシ「ユズ、バシ」「アフメート」氏ノ設置セルモノナリト

「ミン、ユル」ノ守衛ハ六十人ノ兵ヲ置キ其兵ハ概ネ皆火索銃ヲ有ス戍所ヲ距ル数十歩ノ所ニ於テ回教ノ教會アリ我輩ハ此ニ旅泊ヲ求メタリ道路ハ乾渠ヲ経過スルノ所ヲ除クノ外修繕ヲ要セザルモノナリ防禦ニ適スルノ地ハ一モ之アルナシ

薪材野草ハ總テ無シ然レモ薪材秣料及ヒ家畜ハ「キルギズ」人ノ一種「チヤクバシ」人ヨリ買ヒ求

ムルヲ得ベシ水ハ良質ニ属スルモノナシ

十月二十四日経過セシ道路ハ「ミシ、ユル」成所ヨリ「ランガル」村ニ達スルモノニシテ其里程二十六露里ナリ

「ミシ、ユル」成所ヨリ道路ハ「シリヤーブ」河ノ谷地ニ在リ此谷地ヲ為スノ諸山ハ南方ニ於テハ「ムーレ」諸山ニシテ北方ニ於テハ「アク、タン」諸山ナリ旅泊ヲ距ル数露里ノ所ニ於テ「アク、タシ」河河腹ノ乾涸セシモノヲ渡ル此地ヲ名ケテ「アクタシ」ト曰フ又「アク、タシ」山ハ粘土ヨリ組織スルモノニシテ初メハ峻峯ナリシト雖モ漸次ニ下低ス道路ハ谷地ノ左端ニ在リ而テ「ミシ、ユル」山ヲ距ル十露里ノ所ニ至レハ山地ヲ離レテ鳴什喀尓ノ平原ニ出ツ道路ノ平原ニ出ツル前ニ於テ嘗テ支那人ノ築造セル砲臺アリ現今ハ暴破ニ属ス

平原ハ細円石散布シテ「イレカル」灌木ノ名繁茂セリ秣料薪材ハ共ニ窮乏セリ此平原ハ「ムス、タウ」山ヨリ水ノ出ルヿアルトキハ全土悉ク浸没セラレ其水ハ「ランカル」村ニ及ブヿアリ

「ミン、ユル」ヲ距ル十九露里ノ所ニ於テ道路ハ入エノ溝渠「アンゲジヤン、キチーク」ヲ渡ル此溝渠ヲ渡ル所ハ秋季モ其深サ尚ホ一「アルシーン」餘アリ駄馬ヲ渡ス為メニハ材木ヲ水上ニ投シテ之ヲ助ケサル可カラス行クヿ四露里半又一ノ人エニ属スル溝渠アリ其水ハ「クズイル、スー」河ヨリ来ルモノナリ此ニ溝渠ハ初メ北方ニ向テ流レ後ニ弓形ヲ成シ道路ト並行シテ東方ニ流ル溝渠ノ近傍ニハ樹木アリテ旅泊所ヲ構フ「ランガル」村ニ達スル前三露里ニシテ道路ノ左端

ニ四ケ所ノ旅泊所アリ互ニ相ヒ去ルヿ半露里ナリ此旅泊所ハ「クイ、ズイル、スー」山ノ出水平原ヲ浸没セシトキハ溝渠ノ浅瀬ヲ指示スルモノナリ出水尤モ盛ナル時ハ最南ノ旅泊所ヲ求メサル可カラズ我輩ハ「ランガル」村ニ近接シ其左岸ニ在ル「スルーク」村ヲ去レリ「スルーク」村ハ数戸ノ「サークリヤ」ヨリ成ルモノニシテ其近傍ニハ少シク樹木アリ「ランガル」村ヨリシテ漸ク喝什喀尔府ニ等シキ風俗トナル「ランガル」村ニハ多少ノ「サークリヤ」アリ牧場アリ樹木ハ善ク生長

ス
道路ノ修繕ハ二條ノ溝渠ニ橋渠ヲ渡スルノ外別ニ修繕ヲ要スル所ナシ又防禦ニ適スルノ地アルヲ見ス野草薪材ハ全ク欠乏ス然レモ「ランガル」村ニ於テハ秣料薪材共ニ之ヲ求ムルヲ得ベシ家畜ハ之ヲ其近傍ノ噶什喀尔府ニ求ム水ノ良質ニ属スルモノハ極メテ多シ

十月二十五日経過セシ道路ハ「ランガル」村ヨリ噶什喀尔府ノ近傍ニ在ル「ヤンキシヤル」城ニ至ルモノニシテ其里程十七露里半アリ

初メ道路ハ「ランガル」園圃ニ沿テ通シ次ニ円細石ノ充塞スル土地ト成ル道路ノ右端ニ「アク、ランガルアータ」ト名クル「マザル」アリ又左端ニハ溝渠ニ沿テ樹木ノ駢列スルヲ観ル而シテ前路ヲ望メハ噶什喀尔府ノ園圃及ヒ其近傍ノ「サルマク」村ヲ見ルベシ

円細石ノ充足スル道路ヲ過クレハ粘土ノ凹地トナル此所道幅狭隘ニシテ荷車ノ通過スルニ苦ム数條ノ橋梁ハ僅ニ駄荷ヲ維持スルニ足ル其次ハ牧場アリテ其後ハ樹木ノ生長スルアリ

而テ「サルマク」村ニ入ル物場ハ至テ美ニシテ道ハ運送ノ便ヲ圖ルガ為メニ平坦ナラシム冬期生ヲ耕作スルノ田ハ僅ニ播種シテ水ヲ引キシノミナリ「サークリヤ」ハ概ネ路側ニ作ラスシテ耕田ノ内ニ在リ府ニ近ヅク五露里ノ所ニ於テハ道幅廣張ス我輩ノ通過セシ時ハ道路皆水ノ為ニ浸溢セラル府ノ郭壁ハ府ヲ距ル一露里ノ所ニ在リ園囿ハ二百「サージエニ」ノ所ニ至テ終リ府門ノ近傍ニハ建築アリテ殆ト府壁ニ接近ス此所ハ道路極メテ良シ府ハ二壁ヲ以テ防禦ニ備レトモ大砲ハ一門モ之アルナシ故ニ若シ「ヤンギシヤル」ヲ攻取スレハ噶什喀尔ハ兵力ヲ交ヘズシテ直チニ畧取スルヲ得ベシ

道路ハ初メ家屋ト園囿ノ間ニ在リ次ニ「クズイル、クー」ノ谷地ヲ為スノ淤沢地トナリ之ヲ過クレハ良美ノ石道トナル「ヤンギシヤル」城ハ十箇ノ「クルガンチ」ヲ以テ繞囲ス此「クルガンチ」ハ兵卒ノ住スルモノニシテ城門ノ北方ヨリ六十歩ノ所ニ近接ス

「ヤンギシヤル」城ハ支那人ノ築キシモノニシテ

堅固ナリ容易ニ攻取スルヲ得ベキノ
ニ非サルナリ
千八百七十三年大佐「カウリベルス」氏ハ「キンギ
シヤル」城ノ良圖ヲ製セリ